

経済学部 商業学科 専門教育科目

Contents

●2018年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧……	232
●2018年度 通信学習シラバス ……………	235
●2018年度 設題総覧	
・レポート設題と参考文献……………	254
・指定テキストおよびレポートノートの追加・訂正・補足……………	272
●2018年度 単位修得試験の出題範囲 (p.279 に記載した留意事項を必ず確認して下さい) ……	279

2018年度 通信学習科目 指定テキスト・科目掲載ページ一覧

科目名	履修学年	構成単位	テキスト種別 (入手方法)	2018年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社(市販本のみ)／発行年／定価(税抜)	備考	教科書コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
旧・簿記Ⅰ (～2019年3月迄)	1	2	通教テキスト (一)*2	『簿記Ⅰ』永野則雄、第2版、1997年	専用レポートノート*1 (サーモン色) (テキスト改訂： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	—	—	—	254	—
新・簿記Ⅰ (2017年4月～)	1	2	通教テキスト (配本)	『簿記Ⅰ』永野則雄、第3版、2017年	専用レポートノート (白茶色) (テキスト改訂：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	—	—	235	254	—
旧・簿記Ⅱ (～2019年3月迄)	1	2	通教テキスト (一)*2	『簿記Ⅱ』永野則雄、第2版、1997年	専用レポートノート*1 (赤色) (テキスト改訂： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	—	—	—	254	—
新・簿記Ⅱ (2017年4月～)	1	2	通教テキスト (配本)	『簿記Ⅱ』永野則雄、第3版、2017年	専用レポートノート (黄色) (テキスト改訂：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	—	—	235	254	—
指・経営学総論Ⅰ	1	2	指定市販本 (各自購入)	『グロービス MBA マネジメント・ブック [改訂3版]』グロービス経営大学院、ダイヤモンド社、2008年、¥2,800	同一テキスト	S-136	¥2,836	235	255	—
指・経営学総論Ⅱ	1	2	指定市販本 (各自購入)	『組織の解釈学』稲垣保弘、白桃書房、2002年、¥3,200	同一テキスト	S-105	¥3,225	236	255	—
指・経営管理論Ⅰ	2	2	指定市販本 (各自購入)	『金融論をつかむ』前多康男、鹿野嘉昭、酒井良清有斐閣、2006年、¥2,400	同一テキスト	S-094	¥2,437	236	256	—
指・金融論Ⅱ	2	2	指定市販本 (各自購入)	『簿記Ⅲ』第1版 神谷健司・市川佳功、2013年	専用レポートノート	—	—	237	256	—
簿記Ⅲ	2	2	通教テキスト (配本)	『簿記Ⅳ』第2版 神谷健司・市川佳功、2016年*3	専用レポートノート	—	—	237	257	279
簿記Ⅳ	2	2	通教テキスト (配本)	『よくわかる産業社会学』上林 千恵子編著、ミネルヴァ書房、2012年、¥2,600	同一テキスト	S-107	¥2,642	238	257	—
指・人的資源管理論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『財務会計講義』(第19版) 桜井久勝、中央経済社、2018年3月発行予定	同一テキスト (※毎年3月には改訂版が出版されています。最新版を入手してください)	S-108	生協に 問合せて 下さい	238	257	279
指・人的資源管理論Ⅱ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『ファーストステップ原価計算を学ぶ』山北晴雄・福田淳児、中央経済社、2016年、¥2,400	同一テキスト	S-138	¥2,427	239	258	279
指・財務会計論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『管理会計論』第2版 佐藤康男、2003年	同一テキスト	—	—	240	259	—
指・財務会計論Ⅱ	3	2	通教テキスト (申告制)	『ベーシック監査論』(七訂版) 伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏著 同文館、2015年、¥3,800	同一テキスト	S-110	¥3,828	241	259	279
指・監査論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『税務会計Ⅰ・Ⅱ』第1版 大下第二、2013年	同一テキスト	—	—	242	260	280
指・監査論Ⅱ	3	2	通教テキスト (申告制)	『要説 経営分析 五訂版』青木茂男著、森山書店、2016年、¥4,400	同一テキスト	S-112	¥4,411	242	261	280
指・税務会計Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『要説 経営分析 五訂版』青木茂男著、森山書店、2016年、¥4,400	同一テキスト	S-112	¥4,411	242	262	280
指・税務会計Ⅱ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『要説 経営分析 五訂版』青木茂男著、森山書店、2016年、¥4,400	同一テキスト	S-112	¥4,411	243	262	280

* 1) 旧・簿記Ⅰ / 旧・簿記Ⅱ のレポートノートの新規提出・再提出は 2019 年 3 月迄です。再提出の場合は同じ版(帯封が同じ色)のレポートノートを購入し再提出して下さい。

* 2) 原則「教材交付願」での購入のみ。

* 3) 「簿記Ⅳ」の 2016 年度に配本したテキストの中に、奥付が「2015 年 3 月 1 日第 2 版第 1 刷」と記載されている場合がありますが、正しくは「2016 年 3 月 1 日第 2 版第 1 刷」です。お詫びし訂正します。

科目名	履修学年	構成単位	テキスト種別 (入手方法)	2018年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社(市販本のみ)／発行年／定価(税抜)	備考	教科書コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指・国際金融論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『国際金融のしくみ』〔第4版〕 (有斐閣アルマ) 秦 忠夫・本田敬吉・西村陽造著 有斐閣、2012年、¥2,000	同一テキスト	S-113	¥2,039	243	263	280
指・国際金融論Ⅱ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『現代経済と経済学』〔新版〕 増田壽男・沢田幸治編 有斐閣、2007年、¥2,800	同一テキスト	S-088	¥2,826	244	264	280
指①・経済史Ⅰ (～2020年3月迄)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『図説西洋経済史』 飯田 隆著、日本経済評論社、 2005年、¥2,500	(テキスト変更： ～2020年3月迄) 経過措置テキスト スタディガイドあり	S-090	¥2,545	—	264	—
指②・経済史Ⅰ (2018年4月～)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『世界経済の歴史 グローバル経済 史入門』 金井 雄一、中西 聡、福澤 直 樹 名古屋大学出版会、2010年、 ¥2,800	(テキスト変更：2018 年4月～) 最新の指定テキスト	S-090N	¥2,836	245	264	—
指・経済史Ⅱ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『日本経済史』(改訂新版) 宮本又郎編著、放送大学教育振興 会、2012年、¥2,700		S-091	¥2,729	245	265	—
指・統計学Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『調査と分析のための統計』 (第2版) 上藤一郎・森本栄一・常昌宏・ 田浦元著 丸善、2013年、¥2,500	同一テキスト ※初版(2006年)も 使用可 スタディガイドあり	S-089	¥2,525	245	265	281
指・統計学Ⅱ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『基礎コース 財政学』〔第3版〕 林 宜嗣 新世社、2011年、¥2,350	同一テキスト スタディガイドあり	S-092	¥2,399	246	265	281
指・財政学Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『マクロ経済学入門』 麻生良文著、ミネルヴァ書房、 2009年、¥3,500		S-095	¥3,527	246	265	281
指・財政学Ⅱ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『公共経済学』(有斐閣アルマ) 林 正義・小川 光・別所俊一郎 有斐閣、2010年、¥2,300		S-096	¥2,330	246	266	281
指・経済政策論Ⅰ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『日本経済史 近現代』〔第3版〕 三和良一著 東京大学出版会、2012年、¥2,500	(テキスト変更： ～2020年3月迄) 経過措置テキスト	S-097	¥2,535	247	266	—
指②・日本経済論Ⅰ (2018年4月～)	3	2	指定市販本 (各自購入)	『日本経済史 近世～現代』 杉山 伸也、岩波書店、2012年、 ¥4,000	(テキスト変更： 2018年4月～) 最新の指定テキスト	S-137	¥4,043	247	267	—
指・日本経済論Ⅱ	3	2	指定市販本 (各自購入)	『日本経済史 近世～現代』 杉山 伸也、岩波書店、2012年、 ¥4,000		S-137	¥4,043	248	267	—
指・憲法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『現代日本の憲法』〔第2版〕 元山健・建石真公子編 法律文化社、2016年、¥2,800	※初版(2009年)も 使用可	S-026N	¥2,836	248	267	281
指・民法一部(総則・物権法)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『民法 総則・物権』〔第6版〕 (有斐閣アルマ) 山野目章夫著、有斐閣、2012年、 ¥1,800	※第5版(2012年) も使用可	S-102	¥1,834	249	267	—
指①・民法二部(債権法) (～2019年3月迄)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『スタートライン債権法』〔第5版〕 池田真朗著 日本評論社、2010年、¥2,400	(テキスト変更： ～2019年3月迄) 経過措置テキスト	S-103	¥2,437	—	268	—
指②・民法二部(債権法) (2017年4月～)	3	4	指定市販本 (各自購入)	『債権(エッセンシャル民法3)』 永田真三郎、松本恒雄、松岡久和、 横山美夏 有斐閣、2010年、¥2,500	(テキスト変更：2017 年4月～) 最新の指定テキスト	S-145	¥2,535	249	268	—
指・商法総則・商行為法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『商法総則・商行為法』〔第4版〕 田邊光政著 新世社、2016年、¥2,980		S-032	¥3,011	250	269	281
指・会社法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『会社法詳解』〔第2版〕 柴田 和史著 商事法務、2015年、¥5,400	スタディガイドあり	S-033N	¥5,383	251	270	—
指・手形法・小切手法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『商法Ⅲ手形・小切手』〔第4版〕 (有斐閣Sシリーズ) 大塚龍児・林嶋 福龍博之著 有斐閣、2011年、¥2,100		S-045	¥2,136	251	270	281

科目名	履修 学年	構成 単位	テキスト 種別 (入手方法)	2018年度通信学習用 指定テキスト 書籍名・版／著者／出版社（市販 本のみ）／発行年／定価（税抜）	備考	教科書 コード	生協書籍部 販売価格 (送料・税込)	掲載ページ		
								シラバス	設題	試験範囲
指・労働法	3	4	指定市販本 (各自購入)	『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総論・個別的労働関係法』（第3版）金子 征史・藤本 茂・大場 敏彦・高野 敏春著 エイデル研究所、2012年、¥2,381	2018年に第4版発行予定 2冊使用します	S-040	¥2,439	252	271	282
				『基礎から学ぶ労働法Ⅱ集团的労働関係法・社会保険法』（第2版）金子 征史・藤本 茂・大場 敏彦編、エイデル研究所、2016年、¥2,300		S-041	¥2,370			
社会思想史	3	4	通教テキスト (配本)	『社会思想史』（第2版）濱田 義文、加来 彰俊、湯川 桂一郎、牧野 英二、星野 勉、安孫子 信、笠原 賢介、酒井 健、2010年		—	—	252	271	—
指・経済地理	3	4	指定市販本 (各自購入)	『経済地理学入門—地域の経済発展』（新版）、山本健児 原書房、2005年、¥2,800		S-078	¥2,816	253	271	—

2018年度 通信学習シラバス

MAN100TG 簿記 I
教科担当責任者：筒井 知彦
担当者：筒井 知彦 単位数：2 単位 ※ 2017 年 4 月よりテキスト（通教テキスト）改訂

1 学習の到達目標 簿記 I・II は、会計（特に財務会計）への入門として、簿記を初めて学ぶ学生を対象として簿記の基礎を学ぶことにします。簿記のレベルとしては、日本商工会議所の簿記検定 3 級と同じです。したがって、簿記検定 3 級レベルの理解ができることを目標としています。

2 科目の概要 簿記は会計（特に財務会計）の一部です。会計は「ビジネスの言語」といわれています。このビジネスの言語は、企業によって使われている社会的な技術です。身近な商店から世界的な会社に至るまで、その複雑さと難しさは大きく異なりますが、会計の基本的な仕組みは同じです。

「簿記 I・II」は、会計の入門として、簿記の基本的な仕組みを学ぶことになっています。まず、「簿記 I」は、事業活動における基本的な出来事を対象として、簿記の基本的な仕組みと記帳方法を重点的に学びます。次に、「簿記 II」は、「簿記 I」の理解を前提として、さらに詳しい事業活動を対象としてその処理と詳しい記帳の仕方を学びます。「簿記 I・II」は、商店などの個人企業の簿記を扱っています。株式会社の簿記あるいは会計については、その事業活動が複雑になるので、「簿記 III・IV」や「会計学入門 I・II」などで学ぶことになります。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『簿記 I』第 3 版、永野則雄、2017 年

5 学習指導、注意点等 簿記は頭で理解するだけでなく、手を動かすことによって体得するということが重要です。まず、①テキストを良く読んで復習問題を解く（1 回目）、②1 つの章が終わったらその章の復習問題を再度解く（2 回目）、③全体を終えたら全体の復習問題を再度解く（3 回目）、④レポートを作成して提出する。簿記 I をこの手順で理解してから簿記 II に取り掛かるようにしてください。テキスト以外の本で学んだ人では、テキストの復習問題を全部解いてからレポートを作成してください。

勘定科目名が多く出てきますが、誤字のないようにきちんと覚えることが大切です。各種の帳簿や表を作成する際には自分で合計線や締切線などを引くことになります。その際、テキストの例を真似て線を引くようにしてください。

MAN100TG 簿記 II
教科担当責任者：筒井 知彦
担当者：筒井 知彦 単位数：2 単位 ※ 2017 年 4 月よりテキスト（通教テキスト）改訂

1 学習の到達目標 簿記 I・II は、会計（特に財務会計）への入門として、簿記を初めて学ぶ学生を対象として簿記の基礎を学ぶことにします。簿記のレベルとしては、日本商工会議

所の簿記検定 3 級と同じです。したがって、簿記検定 3 級レベルの理解ができることを目標としています。

2 科目の概要 簿記は会計（特に財務会計）の一部です。会計は「ビジネスの言語」といわれています。このビジネスの言語は、企業によって使われている社会的な技術です。身近な商店から世界的な会社に至るまで、その複雑さと難しさは大きく異なりますが、会計の基本的な仕組みは同じです。

「簿記 I・II」は、会計の入門として、簿記の基本的な仕組みを学ぶことになっています。まず、「簿記 I」は、事業活動における基本的な出来事を対象として、簿記の基本的な仕組みと記帳方法を重点的に学びます。次に、「簿記 II」は、「簿記 I」の理解を前提として、さらに詳しい事業活動を対象としてその処理と詳しい記帳の仕方を学びます。「簿記 I・II」は、商店などの個人企業の簿記を扱っています。株式会社の簿記あるいは会計については、その事業活動が複雑になるので、「簿記 III・IV」や「会計学入門 I・II」などで学ぶことになります。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『簿記 II』第 3 版、永野則雄、2017 年

5 学習指導、注意点等 簿記は頭で理解するだけでなく、手を動かすことによって体得するということが重要です。まず、①テキストを良く読んで復習問題を解く（1 回目）、②1 つの章が終わったらその章の復習問題を再度解く（2 回目）、③全体を終えたら全体の復習問題を再度解く（3 回目）、④レポートを作成して提出する。簿記 I をこの手順で理解してから簿記 II に取り掛かるようにしてください。テキスト以外の本で学んだ人では、テキストの復習問題を全部解いてからレポートを作成してください。

勘定科目名が多く出てきますが、誤字のないようにきちんと覚えることが大切です。各種の帳簿や表を作成する際には自分で合計線や締切線などを引くことになります。その際、テキストの例を真似て線を引くようにしてください。

MAN100TG 経営学総論 I
教科担当責任者：佐野 哲
担当者：佐野 哲 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 経営学は、非常に奥が深くて幅の広い学問です。経営哲学のような極めて抽象的な理論から、工程管理のような日々の活動を効率的にする実践的なノウハウまで、様々なテーマを包摂しています。経営学総論では、それらの中から「実践的な経営の場面で活用されている理論・ノウハウ」をバランス良く選び、各自が自律的に学習して行けるような道筋を提示します。

「企業経営者が日常使っている専門的な概念を、正確に理解できる」。これが、当科目の学習到達目標です。

2 科目の概要 経営学総論 I では、①経営戦略（競争優位を築く基本戦略と業界分析手法）、②広告・マーケティング（マーケット及び製品特性の分析と広告・流通戦略）、③ビジネス思考と交渉の理論（ロジカルシンキング及び営業交渉ノウハウの理論と実際）、の 3 テーマを取り上げます。

3 成績評価基準 レポートと単位修得試験の結果から、総合的に評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『グロービスMBA マネジメントブック(改訂3版)』(ダイヤモンド社)の第1部「経営戦略」、第2部「マーケティング」、第7部「ゲーム理論・交渉術」を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 専門的な概念を正確に理解・使用して、実践的な場面がイメージできる、解りやすいレポートを作成して下さい。

MAN100TG
経営学総論Ⅱ
教科担当責任者：佐野 哲
担当者：佐野 哲 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 経営学は、非常に奥が深く幅の広い学問です。経営哲学のような極めて抽象的な理論から、工程管理のような日々の活動を効率的にする実践的なノウハウまで、様々なテーマを包摂しています。経営学総論では、それらの中から「実践的な経営の場面で活用されている理論・ノウハウ」をバランス良く選び、各自が自律的に学習して行けるような道筋を提示します。「企業経営者が日常使っている専門的な概念を、正確に理解できる」。これが、当科目の学習到達目標です。

2 科目の概要 経営学総論Ⅱでは、①会計・アカウンティング(財務諸表の構造と読み方及び経営分析手法)、②投資・ファイナンス(企業の資金調達と投資意思決定に関する理論)、③人材・組織マネジメント(リーダーシップやモチベーションに関する理論と組織設計のあり方)、の3テーマを取り上げます。

3 成績評価基準 レポートと単位修得試験の結果から、総合的に評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『グロービスMBA マネジメント・ブック(改訂3版)』(ダイヤモンド社、2008年、¥2,800+税)の第3部「アカウンティング」、第4部「ファイナンス」、第5部「人・組織」を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 専門的な概念を正確に理解・使用して、実践的な場面がイメージできる、解りやすいレポートを作成して下さい。

MAN200TG
経営管理論Ⅰ
教科担当責任者：稲垣 保弘
担当者：稲垣 保弘 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 経営管理(マネジメント)の基本的な知識を習得して、組織で現実に行われている活動について理解し、それに生かせるようにする。また構成と論理の展開のしっかりしたレポートを書けるようにする。

2 科目の概要 組織と経営管理の基本的な理論について検討し、経営管理についての理解を深める。経営管理(マネジメント)については、組織の階層の関係の中で効率性を追求する活動という捉え方から、全体と部分の効果的なバランスを追求し、効率性のほかに創造性の確保も目指す活動として理解する方向に変容してきている。この流れの中で重要な理論を検討する。

3 成績評価基準 レポートと試験の結果で総合的に評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『組織の解釈学』、稲垣保弘、白桃書房、2002年、¥3,200+税
経営管理の内容とその基本的な理論が示されている。主としてその第1章から第6章までと第11章を範囲とする。

5 学習指導、注意点等 テキストの内容をよく理解し、テーマに合った内容をレポート全体の構成に気を付けながらまとめること。

MAN200TG
経営管理論Ⅱ
教科担当責任者：稲垣 保弘
担当者：稲垣 保弘 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 マネジメントについての重要だがやや応用的な理論について、現実への適用可能性を検討しながら理解する。

2 科目の概要 マネジメントについてのやや応用的な理論について検討する。経営管理論Ⅰでは、効率性の追求を目指す合理的な理論の検討が中心だったが、Ⅱでは効率性のほかに創造性も視野に入れた理論を中心に検討する。

3 成績評価基準 レポートと試験によって総合的に評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『組織の解釈学』、稲垣保弘、白桃書房、2002年、¥3,200+税(第6～10、12章)

マネジメントの重要なテーマについての理解には、稲垣保弘『経営の解釈学』白桃書房、2013年、が参考になる。

5 学習指導、注意点等 理論の検討によって、マネジメントについての思考に論理の連鎖(サイエンス面)と論理の飛躍(アート面)の二面性のあることを理解すること。経営管理論Ⅱでは、アート面の重要性がポイントになる。

ECN200TG
金融論Ⅰ
教科担当責任者：武田 浩一
担当者：武田 浩一 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 この科目の最終的な目標は、現実の金融問題を理解し考察するために必要になる基本的な金融の考え方の枠組みを修得することである。

2 科目の概要 この科目では金融論の基礎を学習する。現実の金融現象の仕組みを理解するために必要となる金融理論の学習にウェイトを置きつつ、金融制度についても併せて学習する。

3 成績評価基準 金融論の基礎が理解できていることをレポート、単位修得試験によって評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 前多康男・鹿野嘉昭・酒井良清『金融論をつかむ』有斐閣、2006年、¥2,400+税

5 学習指導、注意点等 現実の金融事情は変化が著しいため、本科目のテキストを用いた基本的な理論や制度の学習と併せて、日本経済新聞や一般紙の経済面に日々掲載される金融関連記事を読むことを心掛けてほしい。

ECN200TG
金融論Ⅱ
教科担当責任者：武田 浩一
担当者：武田 浩一 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 この科目の最終的な目標は、現実の金融問題を理解し考察するために必要になる基本的な金融の考え方の枠組みを修得することである。

2 科目の概要 この科目では金融論の基礎を学習する。現実の金融現象の仕組みを理解するために必要となる金融理論の学習にウェイトを置きつつ、金融制度についても併せて学習する。

3 成績評価基準 金融論の基礎が理解できていることを、レポート、単位修得試験によって評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 前多康男・鹿野嘉昭・酒井良清『金融論をつかむ』有斐閣、2006年、¥2,400+税

5 学習指導、注意点等 現実の金融事情は変化が著しいため、本科目のテキストを用いた基本的な理論や制度の学習と併せて、日本経済新聞や一般紙の経済面に日々掲載される金融関連記事を読むことを心掛けてほしい。

MAN200TG
簿記Ⅲ
教科担当責任者：神谷 健司
担当者：神谷 健司 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 日商簿記検定試験2級（商業簿記）の範囲についての内容を理解して、実際にさまざまな取引の会計処理等ができるようになることが、この科目の到達目標です。実際に日商簿記2級（商業簿記）の過去問題を解くことによって、この目標が達成されているかどうかかわかると思います。

2 科目の概要 日商簿記3級程度の知識がある方を対象に、日商簿記2級（商業簿記）レベルの内容を学習します。テキストに即して学習を進めますが、テキストは全15章から構成されています。主な内容は、財務諸表の作成、特殊商品売買、手形取引、有価証券取引、固定資産取引、社債の会計、引当金の会計、純資産の会計、本支店会計、特殊仕訳帳等です。1章ずつ学習を進め、各章の学習が終了したら章末問題を解いて、理解度を確かめて欲しい。すべての学習が終了したらレポートを作成することになります。レポートはテキストの幅広い範囲に渡って問題が出題されています。なお平成29年6月からの日商2級試験範囲に入る「外貨建取引」「リース取引」「課税所得の計算」「圧縮記帳」「連結会計の基礎」についてはテキストでは解説していません。この部分については下記に示した参考書等で補ってください。また為替手形取引が3級の出題範囲から除外され、簿記Ⅰ・簿記Ⅱの通教テキスト改訂時（2017年）にそれについては削除されました。この部分についてはこちらのテキストでは触れていませんので、別書で補っていただきたいとします。以上の点については簿記Ⅲのテキストを今後改訂する際に付け加えたいと思います。

3 成績評価基準 最終的に実施する単位修得試験によって成績評価を行います。

4 テキスト名および詳細 テキストは、通教テキスト 神谷健司・市川佳功『簿記Ⅲ』第1版、2013年です。参考書と

して『検定簿記講義（2級商業簿記）』中央経済社と『合格テキスト（2級商業簿記）』TAC出版、桑原知之『サクッとわかる日商簿記2級（商業簿記）』、桜井久勝『財務会計講義』中央経済社をあげておきます。問題集としては各社から出されている過去問の問題集や『合格トレーニング（2級商業簿記）』TAC出版や『検定簿記2級（商業簿記）トレーニング』中央経済社等が入手容易だと思います。

5 学習指導、注意点等 簿記の学習は単にテキストを読むだけでなく、実際に記帳したり、問題を解くことが必要です。テキストを順番に読み進め、例題などを実際に解くことが必要です。

MAN200TG
簿記Ⅳ
教科担当責任者：神谷 健司
担当者：市川 佳功、神谷 健司 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 日商簿記2級程度の学習を修了された学生を対象に、日商簿記1級（商業簿記）程度の簿記会計処理を習得することがこの科目の到達目標です。

2 科目の概要 すでに日商簿記2級まで学習されている方を対象に、さらに日商簿記1級（商業簿記）レベルの内容をこの科目では学習します。ただし2単位の科目であり、テキストの紙幅の関係上、特殊商品販売については範囲から外し、また連結会計の部分については基本的な事項の説明にとどめております。

テキストは15章構成です。内容は有価証券、デリバティブ取引、ヘッジ会計、為替予約の会計処理、固定資産の会計、退職給付会計、税効果会計、組織再編の会計等について学習を進めます。2016年4月のテキスト改訂にあたって、連結会計の部分の削除しました。2単位ということと、テキストのボリュームを考えてのことです。

3 成績評価基準 最終的に実施する単位修得試験によって成績評価を行います。

4 テキスト名および詳細 テキストは通教テキスト 神谷健司・市川佳功『簿記Ⅳ』第2版、2016年です。参考書として、『合格テキスト（1級商業簿記・会計学）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』TAC出版をあげておきます。具体的会計処理の裏づけとなる会計理論については、桜井久勝『財務会計講義（最新版）』中央経済社、等を参考にしてください。問題集としては日商簿記1級試験の過去問題や各種1級テキストに対応している問題集を利用してください。なお連結会計については、『財務会計講義』の該当箇所では連結会計に基本的な考えを学び、さらに連結会計の基本書、たとえば斎藤真哉編『ニューバースック連結会計』中央経済社、2013年のようなものを学ぶことによって連結会計の基本を習得できるかと思います。なお単位修得試験においては連結会計の部分は出題しません。

5 学習指導、注意点等 簿記の学習はテキストに従って記帳処理の練習をしたり、総合問題を解くことが必要です。数多くの問題を解くことによって理解を深めてください。

MAN300TG

人的資源管理論 I

教科担当責任者：佐野 嘉秀

担当者：山口 壘
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 人的資源管理の基礎について理解することを学習目標とします。そのための到達目標として、人的資源管理論 I では、以下の①②③を設定しました。

- ①人的資源管理の基本的な考え方を習得する。
- ②人的資源管理にかかわる論点を知る。
- ③日本企業における人的資源管理の現状と変化について理解する。

2 科目の概要 人的資源管理 (Human Resource Management) は、経営学・商学のなかで、経営資源としてのヒトの管理を扱う学問分野です。本科目では、そうした人的資源管理の基礎として、①人的資源管理の基本的考え方、②人的資源管理にかかわる課題や論点、③日本企業の人的資源管理の現状や変化について学びます。人的資源管理の基礎を学ぶことで、会社や職場でのヒトの管理に関わる制度や慣行の内容や理由について、理解を深めることができます。

3 成績評価基準 リポート及び単位修得試験では、①人的資源管理の基本的な考え方を理解・習得しているかだけでなく、②課題・設問の趣旨を的確に理解し、それに対応する記述となっているか、③論拠を示しつつ論理的な記述がなされているか、④事実と意見が明確に区別されているかを重要な評価基準とします。

4 テキスト名および詳細 指定市販本：『よくわかる 産業社会学』ミネルヴァ書房、上林千恵子編著、2012 年、¥2,600+税
テキストのタイトルに「人的資源管理」の文字はないですが、テキストの内容の多くは、人的資源管理に関するものです。とくに 3 章「企業内キャリアと人事管理」(教科担当責任者が執筆)は人的資源管理の基礎に当たります。まずは、3 章の内容を理解しましょう。さらに、リポート課題や関心に応じ、他の章も読み進めてください。

5 学習指導、注意点等 人的資源管理の分野の学術論文としては、労働政策研究・研修機構が発行している『日本労働研究雑誌』が参考になります。同雑誌のバックナンバーは、ホームページ (<http://www.jil.go.jp/institute/zassi/>) にも掲載されており便利です。

MAN300TG

人的資源管理論 II

教科担当責任者：佐野 嘉秀

担当者：山口 壘
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 人的資源管理の基礎を踏まえ、日本企業が直面する人的資源管理にかかわる諸課題について深く理解することを学習目標とします。そのための到達目標として、人的資源管理論 II では、以下の①②を設定しました。

- ①日本企業が直面する人的資源管理上の諸課題について理解する。
- ②人的資源管理の課題に対して、企業がどのようにすべきかについて、説得的で建設的な提案ができるようになる。

2 科目の概要 人的資源管理 (Human Resource Management) は、ヒトの管理についての実践的学問です。本科目では、①日本企業が直面する人的資源管理上の諸課題について理解し、

②そうした課題を解決するうえで、企業がどのようにすべきかを学びます。雇用や仕事に関する報道や記事の情報のほか、身近な会社や職場での人事管理について考えてみることも、科目の理解につながります。

3 成績評価基準 リポート及び単位修得試験では、①人的資源管理の考え方や論点を理解しているかだけでなく、②課題・設問の趣旨を的確に理解し、それに対応する記述となっているか、③論拠を示しつつ論理的な記述がなされているか、④事実と意見が明確に区別されているかを重要な評価基準とします。

4 テキスト名および詳細 指定市販本：『よくわかる 産業社会学』ミネルヴァ書房、上林千恵子編著、2012 年、¥2,600+税
テキストのタイトルに「人的資源管理」の文字はないですが、テキストの内容の多くは、人的資源管理に関するものです。とくに 3 章「企業内キャリアと人事管理」(教科担当責任者が執筆)は人的資源管理の基礎に当たります。まずは、3 章の内容を理解しましょう。さらに、リポート課題や関心に応じ、他の章も読み進めてください。

5 学習指導、注意点等 人的資源管理の分野の学術論文としては、労働政策研究・研修機構が発行している『日本労働研究雑誌』が参考になります。同雑誌のバックナンバーは、ホームページ (<http://www.jil.go.jp/institute/zassi/>) にも掲載されており便利です。

MAN300TG

財務会計論 I

教科担当責任者：川島 健司

担当者：川島 健司
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 株主や債権者など企業外部の利害関係者に対して経営成績や財政状態を報告する目的で行われている財務会計について、企業会計原則および企業会計基準を中心としながら関係諸法令についても視野に収めながら、体系的に学習することを目標とします。

2 科目の概要 財務会計論では会計基準について学習します。会計ビッグバン以降、企業の実態をよりいっそう的確に描写した透明度の高い財務諸表の作成と公表を促進するため、会計基準が続々と新設・改訂されてきています。この会計基準の改定作業は、国際会計基準とのコンバージェンスを進める過程で加速されてきました。

本科目では、既存の会計基準とともに、新設・改訂されてきた会計基準についても学習することにより、現段階における日本の会計基準を包括的に理解することを目標としています。財務会計論 I では財務会計の概念や構造を学び、基礎固めをしたうえで、いわゆる各論を学習します。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『財務会計講義』桜井久勝、中央経済社、2018 年 4 月時点の最新版。毎年 3 月には改訂版が出版されており、2018 年 3 月に第 19 版が出版される可能性があります。最新版を入手してください。財務会計論 I の範囲はテキストの第 1 章「財務会計の機能と制度」から第 9 章「無形固定資産と繰延資産」までとなります。財務会計論 I では全体の範囲をテキストをほぼ二分したうちの前半となります。財務会計の機能と制度を概観したうえで、利益計算の仕組みについて簿記の構造を含めて学習します。ついで企業会計原則の全体について俯瞰し、利益計算と資産評価

の概念について学びます。それを踏まえて各論に移ります。有価証券の評価、デリバティブ、キャッシュフロー計算書、収益認識基準、棚卸資産の原価配分、固定資産の減価償却および減損、リース会計、無形固定資産、繰延資産までが財務会計論Ⅰで取り上げるトピックとなります。

5 学習指導、注意点等 本テキストは財務会計の教科書として定評のあるベストセラーであり、大学学部はもとより資格試験やビジネスマンにも多く利用されています。テキストは平易な文章で記述され、必要十分な設例がもうけられており、通信教育課程の自習書として最適であると思います。本文で400ページ強ありますが、分量としては標準的であり、これよりページ数を減らすと、必要な記述がカットされてしまいます。このテキストを財務会計論ⅠとⅡで学習することになりますので、それぞれ200ページ強となります。

レポート作成にあたっては、テキストを学習することはもとより、「設題総覧」にあげた参考文献、あるいはその他の文献を利用しながら、単なる引用にとどまることなく、設題の趣旨をくみ取って、御自身の意見を述べてください。参考文献やインターネットで「正解」に近いものを探すのはやめてください。

MAN300TG
財務会計論Ⅱ
教科担当責任者：川島 健司
担当者：川島 健司
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 株主や債権者など企業外部の利害関係者に対して経営成績や財政状態を報告する目的で行われている財務会計について、企業会計原則および企業会計基準を中心としながら関係諸法令についても視野に収めながら、体系的に学習することを目標とします。

2 科目の概要 財務会計論では会計基準について学習します。企業の実態を的確に描写した透明度の高い財務諸表の作成と公表を促進するため、会計基準は常に新設・改訂されています。この会計基準の改定作業は、国際財務報告基準とのコンバージェンスを進める過程で加速されてきました。本科目では、既存の会計基準とともに、新設・改訂されてきた会計基準についても学習することにより、現段階における日本の会計基準を包括的に理解することを目標としています。

財務会計論Ⅱでは、負債の会計、資本および純資産の会計、財務諸表の作成と公開、連結財務諸表の作成、外貨建取引の会計など、財務会計の各論を学習します。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『財務会計講義』桜井久勝、中央経済社、2018年4月時点の最新版。毎年3月には改訂版が出版されており、2018年3月に第19版が出版される可能性があります。最新版を入手してください。

財務会計論Ⅱでは全体の範囲をテキストをほぼ二分したうちの後半となります。第10章「負債」では引当金、税効果会計、退職給付会計、資産除去債務、第11章「株主資本と純資産」では、純資産の構成、資本剰余金、合併、株式交換と株式移転、会社の分割、配当制限、第12章「財務諸表の作成と公開」では、包括利益、注記（継続企業の前提に関する注記など）、四半期財務諸表、第13章「連結財務諸表」では、連結の範囲、連結貸借対照表の作成手続、連結損益計算書の作成手続、連結株主資本等変動計算書、持分法、連結キャッシュフロー計算書、セグメント情報、第14章「外貨建取引等の換算」では、換算方法、外貨建

取引の換算、為替予約などを学習します。

5 学習指導、注意点等 本テキストは平易な文章で記述され、必要十分な設例がもうけられており、通信教育課程の自習書として最適であると思います。本文で400ページ強ありますが、分量としては標準的であり、これよりページ数を減らすと、必要な記述がカットされてしまいます。このテキストを財務会計論ⅠとⅡで学習することになりますので、それぞれ200ページ強となります。レポート作成にあたっては、テキストを学習することはもとより、「設題総覧」にあげた参考文献、あるいはその他の文献を利用しながら、単なる引用にとどまることなく、設題の趣旨をくみ取って、ご自身の意見を述べてください。

MAN300TG
原価計算論Ⅰ
教科担当責任者：福田 淳児
担当者：福田 淳児
単位数：2 単位

1 学習の到達目標 原価計算論Ⅰでは、原価計算論を学習する上で必要となる基礎的な概念や専門的な用語のいくつかを自分なりの言葉で簡潔に説明できること、および原価計算の一連の手続きおよびその意味内容を理解し、基本的な計算プロセスが説明できること、さらに原価計算に関わる基本的な計算問題が解けることを目標としています。

2 科目の概要 原価計算論Ⅰでは、テキストならびに参考文献を利用し、原価計算論の学習を進めていく上で基本的な概念や専門用語の解説を行なっています。今後、原価計算の学習を進めて行く上で前提となることも多いので、必ず理解するように心がけてください。その上で、原価計算の一連の計算手続きについて、費目別原価計算、部門別原価計算および製品別原価計算（個別原価計算・総合原価計算）の順番で計算メカニズムの説明およびその理論的な根拠についての解説を行っています。テキストで示したような一連の手続きの意味またそれらの手続きがなぜ必要となるのかについてもじっくりと考えながら読み進めるようにしてください。原価計算論Ⅰでは、主に以下の項目について学習します。

1. 原価計算の意義と目的：原価計算の意義および『原価計算基準』に従い原価計算を行う目的について学習します。
2. 原価の本質と分類：原価とは何であるのか、また原価を形態別、製品との関連性および操業度との関連性で分類した場合のそれぞれの原価の名称およびそれぞれの特徴について学習します。
3. 原価計算の手續と種類：原価計算の一連の手續、費目別原価計算、部門別原価計算、製品別原価計算について簡単に学習します。具体的な内容は以下の順で学習します。
4. 費目別原価計算：材料費、労務費、経費、製造間接費についてそれぞれの具体的な分類とその特徴及び計算方法について詳しく学習します。
5. 原価計算の部門別計算：原価の部門別計算の意義およびその計算手續きについて学習します。特に、補助部門費の製造部門への配賦方法について、いくつかの方法を学習します。
6. 製品別原価計算（個別原価計算）：受注生産形態の工場で利用される個別原価計算についてその特徴および計算手續きについて学習します。
7. 製品別原価計算（総合原価計算）：見込み生産形態の工場で利用される総合原価計算についてその特徴、種類ならびに計算手續きについて学習します。個別原価計算との対比で理解するようにしてください。

受講者は各項目についてテキストや参考文献の説明を単に読むだけで終わるのではなく、それらの文献に示されている例題を必ず解いて理解を確認しながら学習を進めてください。

3 成績評価基準 原価計算論Ⅰの学習範囲から出題された単位修得試験に基づいて評価を行ないます。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 山北晴雄・福田淳児著『ファーストステップ 原価計算を学ぶ』中央経済社（2016年、¥2,400+税）の第1章から第11章まで。

5 学習指導、注意点等 テキストの指定範囲の全部または参考文献を必ず熟読してください。さらに、各章の例題を解いてみてください。例題が解けないときには、テキストや参考文献の該当箇所に戻り、もう一度説明を読んでみてください。原価計算の一連の計算プロセスを理解する上では、ひとつひとつの内容およびその手続きを確実に理解して進んでいくことが必要となります。

また、レポートの提出にあたっては、テキストや参考文献の該当箇所をもう一度熟読し、必ず自分の言葉でまとめてみてください。その際になぜそういったことが言えるのかまでを考え、レポートに明示してください。引用は必要最低限度にとどめ、きちんと引用箇所を明記してください。また、他の論者の主張に基づいて記述をする場合にも、きちんとそれを明記してください。参考文献リストもレポートの末尾につけるようにして下さい。講評に基づいて、再提出を行う場合には、単に指摘のあった箇所だけを補足・修正するのではなく、もう一度全体の文章もきちんと見直し、意味の通るレポートにしてください。

MAN300TG

原価計算論Ⅱ

教科担当責任者：福田 淳児

担当者：福田 淳児

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 原価計算論Ⅱでは、経営管理目的のために原価計算システムがどのような情報を提供することができるのか、またその具体的な役割を理解することを目標とします。

経営管理目的での原価計算の役立ちとして、標準原価計算による原価管理への役立ち、また短期利益計画に対する直接原価計算や CVP 分析の役立ちについて理解することを目標とします。

さらに、製造間接費の配賦の問題に関連して、伝統的な製造間接費の配賦方法の問題が顕在化した背景、それに対して新たに提唱された Activity-Based Costing と伝統的な製造間接費の配賦方法との差異を明確に説明できることを目標とします。

2 科目の概要 原価計算論Ⅱでは、原価計算システムが経営管理目的にどのような情報を提供しているのか、またその役割について学習します。さらに、近年における原価計算の発展、およびその背後にある製造環境の変化についても学習します。具体的には以下の項目について学習します。

1. 標準原価計算：標準原価計算の意義や目的を明らかにした後、原価標準の設定ならびに標準原価と実際発生原価との差異分析の方法について学習します。製造間接費の差異分析についてはいくつかの方法があるので、それぞれを理解すること。また、現在の製造環境のもとでの標準原価計算の原価管理目的への役立ちについても検討します。

2. 直接原価計算：直接原価計算の意義を明らかにした後、全部原価計算との比較で直接原価計算の特徴を説明します。その後、両者の方式で作成した損益計算表での営業利益の相違がどのような状況で生じるのかについて検討します。

3. CVP 分析：短期利益計画を設定する上で有用な情報を提供するツールとして原価、営業量、利益の関係を分析する CVP 分析について学習します。損益分岐点での売上高、またある一定の目標利益を達成するための売上高などを計算できるようになります。

4. Activity-Based Costing（活動原価計算）：1980年代における製造環境の変化が製造原価の構成や製造間接費の中身に大きな変化をもたらしたことから、それによって伝統的な製造間接費の配賦方法が許容できなくなってきたことから ABC が提唱されたことを紹介しています。その後、ABC の具体的な計算手続きや近年 ABC に対する批判に答えるために提唱された TDABC を紹介しています。

経営管理目的に有用な原価計算について、それぞれの原価計算手法の持つ意味、またその役立ちについてしっかりと理解してください。さらに、そのような原価手法がどのような製造環境の求めに応じて出現したのか、さらに製造環境の変化のもとでどのような影響を受けてきたのかも理解できるようにしてください。

3 成績評価基準 原価計算論Ⅱの範囲から出題された単位修得試験の結果に基づいて評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 山北晴雄・福田淳児著『ファーストステップ 原価計算を学ぶ』中央経済社（2016年、¥2,400+税）の第12章から第15章まで。

5 学習指導、注意点等 テキストの指定範囲の全部または参考文献を必ず熟読してください。さらに、各章の例題を解いてみてください。例題が解けないときには、テキストや参考文献の該当箇所に戻り、もう一度説明を読んでみてください。原価計算の一連の計算プロセスを理解する上では、ひとつひとつの内容およびその手続きを確実に理解して進んでいくことが必要となります。

また、レポートの提出にあたっては、テキストや参考文献の該当箇所をもう一度熟読し、必ず自分の言葉でまとめてみてください。その際になぜそういったことが言えるのかまでを考え、レポートに明示してください。引用は必要最低限度にとどめ、きちんと引用箇所を明記してください。また、他の論者の主張に基づいて記述をする場合にも、きちんとそれを明記してください。参考文献リストもレポートの末尾につけるようにして下さい。講評に基づいて、再提出を行う場合には、単に指摘のあった箇所だけを補足・修正するのではなく、もう一度全体の文章もきちんと見直し、意味の通るレポートにしてください。

MAN300TG

管理会計論Ⅰ

教科担当責任者：北田 皓嗣

担当者：北田 皓嗣

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 経営管理問題と管理会計との関係についての知識の習得を目指します。管理会計情報が経営管理における問題ごとに異なる会計情報が利用されること、またそのときに必要となる財務・非財務情報について理解することを目指します。また関連した計算方法を使えるようにすることを目指します。

2 科目の概要 会計学の領域は財務会計と管理会計の二つに区分される。管理会計は企業の管理者がさまざまな意思決定を行なうさいに必要な会計情報を作成することを目的としている。財務諸表を作成することを目的としている財務会計とはかなり異なっているが、きわめて実践的な学問ですので会社に動

めている方には役立つであろう。

3 成績評価基準 管理会計論Ⅰ／Ⅱでは記述を中心としたレポート課題と、計算問題の2つの課題を出題しています。両方の課題が合格水準に達することが求められます。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『管理会計論』第2版、佐藤康男、2003年
※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 管理会計論Ⅰと管理会計論Ⅱは、いずれの学習範囲も上記指定テキスト全般とします。
レポートは、特定の領域において十分な知識が習得できるように設定しています。ただ単位修得試験は、テキスト全体が試験範囲となっています。レポートで学習したことを踏まえ、それぞれの特ピックについても学習するようにしてください。

MAN300TF
管理会計論Ⅱ
教科担当責任者：北田 皓嗣
担当者：北田 皓嗣 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 経営管理問題と管理会計との関係についての知識の習得を目指します。管理会計情報が経営管理における問題ごとに異なる会計情報が利用されること、またそのときに必要となる財務・非財務情報について理解することを目指します。また関連した計算方法を使えるようにすることを目指します。

2 科目の概要 会計学の領域は財務会計と管理会計の二つに区分される。管理会計は企業の管理者がさまざまな意思決定を行なうさいに必要な会計情報を作成することを目的としている。財務諸表を作成することを目的としている財務会計とはかなり異なっているが、きわめて実践的な学問ですので会社に勤めている方には役立つであろう。

3 成績評価基準 管理会計論Ⅰ／Ⅱでは記述を中心としたレポート課題と、計算問題の2つの課題を出題しています。両方の課題が合格水準に達することが求められます。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『管理会計論』第2版、佐藤康男、2003年
※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 管理会計論Ⅰと管理会計論Ⅱは、いずれの学習範囲も上記指定テキスト全般とします。
レポートは、特定の領域において十分な知識が習得できるように設定しています。ただ単位修得試験は、テキスト全体が試験範囲となっています。レポートで学習したことを踏まえ、それぞれの特ピックについても学習するようにしてください。

MAN300TG
監査論Ⅰ
教科担当責任者：坂上 学
担当者：坂上 学 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 監査の基本知識として、理論的な基礎と制度の概要を理解することを目標としている。

2 科目の概要 株式会社の監査制度の基礎知識を、体系的に理解することを課題としている。株式会社監査の基礎概念の理解に始まり、監査の担い手である監査人（公認会計士や監査法人）の制度、監査意見形成のプロセスについて学習する。

3 成績評価基準 レポートの内容が単によくまとまっているだけでなく、以下の点についても、条件を満たしているかどうかをチェックし、成績評価の重要な要素とするので、必ず守ること。

- (1) レポートの構成がしっかりとしているか。(構成がわかるように、適宜見出しなどを付けるとよい)
- (2) 参考にした文献や Web ページについて、引用箇所を文中に明示しているか。(引用がまったく示されていない場合は即再提出となる)
- (3) 参考文献、参考 URL の一覧を最後に明記しているか。(無い場合は即再提出となる)
- (4) 与えられた字数を十分に用いているか (2,000 字)。(多過ぎる場合も減点対象とする)

上記の項目が2つ以上満たされていない場合は、再提出の対象となるので注意されたい。なお、最終成績は単位修得試験により評価する。(ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。)

4 テキスト名および詳細 【指定市販本】伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏著『ベーシック監査論』七訂版、同文館、2015年、¥3,800 + 税 (もしくは最新版)
以下の章が学習範囲である。

- 第1章「監査のフレームワーク」
- 第2章「監査制度のフレームワーク」
- 第3章「監査規範の意義とわが国の監査基準」
- 第4章「監査意見形成のプロセス」

※改訂版の出版により上記記載の版が入手できない場合は、最新版を使用すること。

5 学習指導、注意点等 成績評価基準にも書いたが、ただ調べたものを書き連ねるだけでなく、問題の意図を正しく理解し、構成をしっかりとて、レポートを作成して欲しい。その際、参考にした文献や Web ページなどは、必ず引用箇所を明記するとともに、最後に参考文献・参考 URL の一覧を付すこと。

レポートの書き方については、『学習支援ハンドブック』(<http://www.hoseikyoku.jp/fd/handbook/>)を参考にするとよい。

近年気になるのは、安易に Web ページの記述をコピー&ペーストしただけのもの、関係のない事項について多くの字数を割いているもの、引用箇所が明記されていないもの、等々が多く見られるようになったことである。多くの文献や Web ページを参考にすることは良いことであるが、自分なりに咀嚼し、自分の言葉でレポートを書くようにして欲しい。

MAN300TG
監査論Ⅱ
教科担当責任者：坂上 学
担当者：坂上 学 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 監査の基本知識として、理論的な基礎と制度の概要を理解することを目標としている。

2 科目の概要 株式会社の監査制度の基本的な知識について、体系的に理解することを課題としている。監査のうち、リスク・アプローチに基づく監査の計画と実施のプロセス、監査報告書と情報提供機能等について学習する。

3 成績評価基準 レポートの内容が単によくまとまっているかだけでなく、以下の点についても、条件を満たしているかどうかをチェックし、成績評価の重要な要素とするので、必ず守ること。

- (1) レポートの構成がしっかりとしているか。(構成がわかるように、適宜見出しなどを付けるとよい)
- (2) 参考にした文献や Web ページについて、引用箇所を文中に明示しているか。(引用がまったく示されていない場合は即再提出となる)
- (3) 参考文献、参考 URL の一覧を最後に明記しているか。(無い場合は即再提出となる)
- (4) 与えられた字数を十分に用いているか (2,000 字)。(多過ぎる場合も減点対象とする)

上記の項目が2つ以上満たされていない場合は、再提出の対象となるので注意されたい。なお、最終成績は単位修得試験により評価する。(ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。)

4 テキスト名および詳細 【指定市販本】伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏著『ベーシック監査論』七訂版、同文館、2015年、¥3,800 + 税 (もしくは最新版)

以下の章が学習範囲である。

- 第5章 「リスク・アプローチと監査戦略」
 - 第6章 「リスク評価、リスク対応および監査の完了」
 - 第7章 「監査報告書と情報提供機能」
 - 第8章 「開示情報の多様化と保障機能」
- ※改訂版の出版により上記記載の版が入手できない場合は、最新版を使用すること。

5 学習指導、注意点等 成績評価基準にも書いたが、ただ調べたものを書き連ねるだけでなく、問題の意図を正しく理解し、構成をしっかりとて、レポートを作成して欲しい。その際、参考にした文献や Web ページなどは、必ず引用箇所を明記するとともに、最後に参考文献・参考 URL の一覧を付すこと。

レポートの書き方については、『学習支援ハンドブック』(<http://www.hosekyoiku.jp/fd/handbook/>)を参考にするとよい。

近年気になるのは、安易に Web ページの記述をコピー＆ペーストしただけのもの、関係のない事項について多くの字数を割いているもの、引用箇所が明記されていないもの、等々が多く見られるようになったことである。多くの文献や Web ページを参考にすることは良いことであるが、自分なりに咀嚼し、自分の言葉でレポートを書くようにして欲しい。

MAN300TG
税務会計 I
教科担当責任者：大下 勇二
担当者：大下 勇二 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 会社の中心的な税金である法人税の基本的な計算プロセスの基礎的考え方を理解することにより、会計分野の重要な領域としての税務会計の基礎を修得し、財務会計との関係および違いを理解することを目指します。

2 科目の概要 法人税法の課税所得計算の基礎、益金計算および原価配分領域を中心とした損金の計算について、次の項目を学習します。法人税の基礎 (1)・(2)、課税所得計算の基礎 (1)・(2)、売買損益の計算、営業外収益および特別利益、売上原価の計算と棚卸資産の期末評価、有価証券の譲渡原価と期末評価、固定資産の減価償却 (1)、繰延資産の償却

3 成績評価基準 単位修得試験の結果により評価します。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト 大下勇二著『税務会計 I・II』第 1 版、2013 年

※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 税法の条文には可能な限り目を通して下さい。また、テキストはこれを単に読むだけでなく、例題の付いているところはその例題を自分で解いてみるのが重要です。

MAN300TG
税務会計 II
教科担当責任者：大下 勇二
担当者：大下 勇二 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 「税務会計 I」において法人税の課税所得計算の基礎的な内容を理解した上で、「税務会計 II」では法人税課税の応用的な個別問題領域を学習し、現代社会において、法人税課税上いかなる問題が生じているのかを深く理解することを目指します。

2 科目の概要 次の項目を中心に学習します。事業形態の多様化と課税問題、企業の社会的責任と寄附金・交際費課税、給与の支給形態の多様化と課税問題、不良債権の償却の課税問題、固定資産の減価償却 (2)、企業活動の集団化と課税問題 (1)・(2)、企業活動の国際化と課税問題 (1)・(2)・(3)

3 成績評価基準 単位修得試験の結果により評価します。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト 大下勇二著『税務会計 I・II』第 1 版、2013 年

※【申告制】テキスト

5 学習指導、注意点等 「税務会計 II」は応用的な個別問題領域を中心に学習しますので、必ず「税務会計 I」を学習した上で、履修して下さい。

MAN300TG
経営分析論 I
教科担当責任者：福多 裕志
担当者：福多 裕志 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 経営分析論 I (ここでは「経営分析」を「財務諸表分析」と同義として使用)では、企業の財務体質を判定する定量的財務諸表分析を学習します。企業が開示する会計情報(数値データ)に基づいて財務体質を的確に把握することによって、財務上の問題点とその解決策を明らかにし、経済合理的意思決定の促進を理解することが当該科目の目標です。そのためには、受講者自らがインターネット上より企業の有価証券報告書入手し、PC や電卓を駆使して企業の比率・指標等を算出し、その差異を比較・検討し、自らの解釈を加えることが重要となります。

2 科目の概要 経営分析は、「比較に始まり、比較に終わる」といってもよいほど、比較・検討することが要請されます。効率的な経営管理と経済合理的な意思決定を追求するために、同業他社と比較し、業界平均と比較し、そして過去と比較するという手続きを通して、どのような要因から差が生じたのか、生じなかったのかを突き止め効率的な経営管理と合理的な意思決

定に反映します。

経営分析論Ⅰでは指定教科書の、「第1部 経営分析の基礎」(第1章～第4章)および「第2部 収益性の分析」(第5章～第10章)までを試験範囲とします。四訂版、五訂版とも同一の項目を扱っておりますので、万遍なく継続的に学習を進めてください。

3 成績評価基準 筆記試験において60点以上を合格とします。A+:100～90点、A:89～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59点以下

4 テキスト名および詳細 指定市販本『要説 経営分析 五訂版』青木茂男著、森山書店、2016年、¥4,400+税。四訂版、五訂版いずれの版を使用しても齟齬が生じないように試験問題が出題されます。

5 学習指導、注意点等 受講者には初級程度(日商簿記検定3級程度)の簿記知識が必要となりますので、会計関連科目を学習したことの無い方は、事前に「簿記」、「財務会計」等の基礎を学習されることを強くお勧めします。

学習の分量が多くなりますので、継続的、計画的に学習を進め最終試験を突破してください。

MAN300TG
経営分析論Ⅱ
教科担当責任者： 福多 裕志
担当者： 福多 裕志 単位数：2単位

1 学習の到達目標 経営分析論Ⅱ(ここでは「経営分析」を「財務諸表分析」と同義として使用)では、経営分析Ⅰと同様に企業の財務体質を判定する定量的財務諸表分析を学習します。企業が開示する会計情報(数値データ)に基づき財務体質を的確に把握することによって、財務上の問題点とその解決策を明らかにし、経済合理的意思決定の促進を理解することが当該科目の目標です。そのためには、受講者自らがインターネット上より企業の有価証券報告書を入力し、PCや電卓を駆使して企業の比率・指標等を算出し、その差異を比較・検討し、自らの解釈を加えることが重要となります。

2 科目の概要 経営分析は、「比較に始まり、比較に終わる」といってもよいほど、比較・検討することが要請されます。効率的な経営管理と経済合理的な意思決定を追求するために、同業他社と比較し、業界平均と比較し、そして過去と比較するという手続きを通して、どのような要因から差が生じたのか、生じなかったのかを突き止め効率的な経営管理と合理的な意思決定に反映します。

経営分析論Ⅱでは指定教科書の、「第3部 流動性の分析」(第11章～第13章)および「第4部 経営分析の展開」(第14章～第15章)までを試験範囲とします。最終章の「**第16章 企業価値の評価**」を含みませんのでご注意ください。四訂版、五訂版とも同一の項目を扱っておりますので、万遍なく継続的に学習を進めてください。

3 成績評価基準 筆記試験において60点以上を合格とします。A+:100～90点、A:89～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59点以下

4 テキスト名および詳細 指定市販本『要説 経営分析 五訂版』青木茂男著、森山書店、2016年、¥4,400+税。四訂版、五訂版いずれの版を使用しても齟齬が生じないように試験問題が出題されます。

5 学習指導、注意点等 受講者には初級程度(日商簿記検

定3級程度)の簿記力および経営分析Ⅰ程度の知識、技術が必要となりますので、「簿記」、「財務会計」、「経営分析Ⅰ」等の内容を確認されることを強くお勧めします。

学習の分量が多くなりますので、継続的、計画的に学習を進め最終試験を突破してください。

ECN300TG
国際金融論Ⅰ
教科担当責任者： 横内 正雄
担当者： 横内 正雄 単位数：2単位

1 学習の到達目標 国際金融論Ⅰは、現実の世界における様々な国際金融現象をとらえるための基礎的な理論を学び、その意味を理解することを目指す。まず、外国為替、外国為替相場、国際収支など国際金融の基礎概念を修得し、次に外国為替相場の決定理論と国際収支の決定理論、デリバティブなどについて理解を進める。こうした概念と理論の修得を通じて、現在進行している金融グローバル化現象の背後にある基本的なメカニズムの理解を目指す。

2 科目の概要 国際金融論が扱う外国為替相場や国際収支の問題は、日々のニュースで頻りに伝えられ、議論されている。そして、その意味するところを知ることなしには今日のグローバル化した社会を理解することは出来ないと言ってよいほどである。しかし、国際金融現象は年々複雑化してきている。国際金融論Ⅰでは、現代の国際金融の問題を考えるにあたって、その概念と基礎理論を学ぶことによって現実の問題を深く理解しようとするものである。具体的には、外国為替の概念、外国為替相場、外国為替市場、国際収支の概念を理解し、それを前提として外国為替相場や国際収支の決定に関する理論を学ぶ。テキストでは主に第1章～第7章がこの分野に相当する。ただし、テキストはあくまで入門レベルのものであるので、設題に対する解答などより深く国際金融を理解するためには参考文献を利用した学習が不可欠となる。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。(ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。)

4 テキスト名および詳細 指定市販本『国際金融のしくみ』第4版(有斐閣アルマ)、有斐閣、秦 忠夫・本田敬吉・西村陽造著、2012年、¥2,000+税

5 学習指導、注意点等 国際金融論Ⅰにおける基礎的な理論の修得には金融論の理解が不可欠である。また、マクロ経済的な知識や国際経済に関する知識も同様に必要とされる。そのため、国際金融に関する理論のみの修得を目指すのではなく、広くマクロ経済、金融、国際経済の理論の修得もあわせて行うことが望ましい。他の社会科学と同様に国際金融論でも論理的な思考が不可欠である。経済現象には理論によって説明される論理必然的な因果関係が存在すると言ってもよい。例えば、金利の上昇がなぜ円高をもたらすのかと考えるとき、その背後における理論から導き出される論理的な帰結を考える必要がある。このような理論的な連鎖の関係を理解することが重要であり、学習する上で常に論理的に考えることが求められる。

ECN300TG

国際金融論Ⅱ

教科担当責任者：横内 正雄

担当者：横内 正雄

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 国際金融論Ⅱは、国際金融論Ⅰで修得した基礎的な概念と理論を前提として、現実の国際金融に関わる現象を解説していくことを課題とする。まず、国際金融の歴史をたどり、国際通貨体制や国際通貨がいかに変遷してきたのかを学ぶ。次に、国際金融の場面で現実が生じつつある金融危機、通貨危機、通貨統合などの問題を考察する。こうした作業を通じて現在進行している金融グローバル化現象の本質と意味を理解することを目標とする。

2 科目の概要 国際金融論が扱う国際通貨体制や通貨金融危機の問題は、日々のニュースで頻繁に伝えられ、議論されている。そして、その意味するところを知ることは出来ないとはいへない。グローバル化した社会を理解することは出来ないとはいへない。国際金融論Ⅱでは、現代の国際金融の問題を考えるにあたって、その歴史から掘り起こし、大きな流れの中で国際金融の問題がいかに変遷してきたのかを捉えることによって、現実の問題を深く理解しようとするものである。具体的には、第一次大戦前の国際金本位制、第二次大戦後のブレトンウッズ体制、EU 通貨統合、円の国際化、通貨金融危機、グローバルインバランスなどの問題を扱う。テキストでは、主に第8章以降がこの分野に相当する。ただし、テキストはあくまで入門レベルのものであるので、設題に対する解答などより深く国際金融を理解するためには参考文献を利用した学習が不可欠となる。また、日々の国際金融に関するニュースとその解説に関心を持つことも、最新の国際金融の問題を理解する上で欠かせないものである。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。(ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。)

4 テキスト名および詳細 指定市販本『国際金融のしくみ』第4版(有斐閣アルマ)、有斐閣、秦 忠夫・本田敬吉・西村陽造著、2012年、¥2,000+税

5 学習指導、注意点等 国際金融論Ⅱは国際金融論Ⅰにおける基礎的な理論が修得できていることが必要となる。また、マクロ経済的な知識や国際経済に関する知識も同様に必要とされる。そのため、国際金融の歴史や制度に関する知識の習得に専念するのではなく、幅広く国際金融の現象を考えることが肝要である。また、他の社会科学と同様に国際金融論でも論理的な思考が不可欠である。経済現象には理論によって説明される論理必然的な因果関係が存在すると言ってもよい。例えば、金利の上昇がなぜ円高をもたらすのかと考えるとき、その背後における理論から導き出される論理的な帰結を考える必要がある。このような理論的な連鎖の関係を理解することが重要であり、学習する上で常に論理的に考えることが求められる。

ECN300TG

社会経済学Ⅰ

教科担当責任者：原 伸子

担当者：相沢 裕紀、原 伸子

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1. 資本主義経済システムの歴史的な性格を理解すること。
2. 現代資本主義において生起する諸問題を基礎理論にまでさかのぼって理解するための概念を習得すること。

2 科目の概要 社会経済学の対象は歴史的に存在し発展する資本主義社会の経済システムです。したがって歴史的視点が重要です。歴史的視点とは、われわれが生活する資本主義社会およびそれを理論化する体系を動的にとらえ、展開することです。すなわち、18世紀末から19世紀初頭の産業革命によって成立した資本主義社会、20世紀初頭の独占資本の成立と国家の介入、戦後の福祉国家体制、グローバリゼーションのもとでの変容などを理解するための理論体系を学びます。社会経済学Ⅰでは、価値・商品(市場システム)、資本の生産の基礎理論に重点をおきます。

3 成績評価基準 成績は規定にもとづいて、レポートと試験で評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『現代経済と経済学』[新版]、有斐閣、増田壽男・沢田幸治編、2007年、¥2,800+税

5 学習指導、注意点等 学習は本来、受動的なものではなく、主体的に行われるものです。通信教育課程はそのような本来の学問姿勢がまさに試される場です。日頃から現実に対する問題関心を持ちながら勉学に励むことによって、充実した学生生活を送ることができるといえるでしょう。レポート作成にさいしては、テキストをよく読んで与えられた課題に正確に答えることがまず前提になりますが、それとともに、現実に対する自らの問題意識との関連性が問われる場でもあります。質問も含めて積極的な取り組みに努めてください。

ECN300TG

社会経済学Ⅱ

教科担当責任者：原 伸子

担当者：相沢 裕紀、原 伸子

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1. 資本主義経済システムの歴史的な性格を理解すること。
2. 現代資本主義において生起する諸問題を基礎理論にまでさかのぼって理解するための概念を習得すること。

2 科目の概要 社会経済学の対象は歴史的に存在し発展する資本主義社会の経済システムです。したがって社会経済学の内容を理解するためには歴史的視点が重要になってきます。歴史的視点とは、われわれが生活する資本主義社会およびそれを理論化する体系を動的にとらえ、展開することです。すなわち、18世紀末から19世紀初頭の産業革命によって成立する資本主義社会、20世紀初頭の独占資本の成立と国家の介入、戦後の福祉国家体制、グローバリゼーションと福祉国家の変容などを理解するための理論体系を学びます。社会経済学Ⅱでは、資本蓄積(雇用・失業・成長)、社会的再生産、競争と価格、信用、農業、産業循環、福祉国家の危機(新保守主義の登場)などを理解

するための基礎理論に重点をおきます。

3 成績評価基準 成績は規定にもとづいて、レポートと試験で評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『現代経済と経済学〔新版〕』、有斐閣、増田壽男・沢田幸治編、2007年、¥2,800+税

5 学習指導、注意点等 学習は本来、受動的なものではなく、主体的に行われるものです。通信教育課程はそのような本来の学問姿勢がまさに問われる場です。日頃から現実に対する問題関心をもちながら勉学に励むことによって、充実した学生生活を送ることができるでしょう。レポート作成にさいしては、テキストをよく読んで与えられた課題に正確に答えることがまず前提になりますが、それとともに、現実に対する自らの問題意識とその関連性が問われる場でもあります。質問も含めて積極的な取り組みに努めてください。

ECN300TG 経済史 I
教科担当責任者：長原 豊
担当者：杉浦 未樹、長原 豊 単位数：2 単位
※ 2018 年度 4 月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 1) 市場経済がどのように発展していったかを理解する。

2) またそれには様々な類型があったことを理解する。

3) 論理的な文章が書けるようになること。

2 科目の概要 本科目の目的は、その成立以来200年以上に及ぶ市場経済の歴史を概観することによって、経済社会の仕組みを理解するとともに経済学の考え方を身に付けることにある。中でも国際的連関のなかから経済の成り立ちを理解することを目指す。経済史である以上、生産・流通・金融・財政の各方面の動きを追っていくが、企業経営の歴史にも留意する。

3 成績評価基準 レポート評価に当たっては、下記を重視する。

1) 教科書、参考書等の丸写しは不可。必ず自分の考えを盛り込む。

2) レポート作成に使用した参考文献は脚注で明記する。

3) 誤字、脱字に注意すること。

4) 字数の標準を遵守すること。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 金井雄一、中西聡、福澤直樹『世界経済の歴史 グローバル経済史入門』名古屋大学出版会、2010年
参考図書

奥西孝、ばん澤歩、堀田隆、山本千映編『西洋経済史（有斐閣アルマ）』有斐閣、2010年

飯田隆『図説西洋経済史』日本経済評論社、2005年

5 学習指導、注意点等 テキストだけでなく、その中で引用されている関連文献なども積極的に学習すること。

現代的視点から歴史を理解する態度を身につけてほしい。

ECN300TG 経済史 II
教科担当責任者：牧野 文夫
担当者：牧野 文夫 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 1) 日本における市場経済がどのように発展していったかを理解する。

2) またそれに対し、国内的、国際的要因がどのように作用したかを理解する。

3) 論理的な文章が書けるようになること。

2 科目の概要 本科目の目的は、近世（徳川時代初期）から現在に至る時期までの日本の経済の発展の過程を概観することによって、日本の経済・社会の発展の仕組みを理解し、また現在の日本経済の到達点やそれが抱えている問題を歴史的経路から理解することにある。

3 成績評価基準 レポート評価に当たっては、下記を重視する。

1) 教科書、参考書等の丸写しは不可。必ず自分の考えを盛り込む。

2) レポート作成に使用した参考文献（含該当頁）は脚注で明記する。

3) 誤字、脱字に注意すること。

4) 字数の標準を遵守すること。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『日本経済史』改訂新版、放送大学教育振興会、宮本又郎編著、2012年、¥2,700+税

5 学習指導、注意点等 テキストだけでなく、その中で引用されている関連文献なども積極的に学習すること。

現代的視点から歴史を理解する態度を身につけてほしい。

ECN300TG 統計学 I
教科担当責任者：菅 幹雄
担当者：菅 幹雄 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 現代の我々はかつてなかったほど多くの情報や統計データに取り囲まれている。だが、多くの人たちがそれらの統計データを適切に処理できるかは疑問である。統計データの読み方および使い方を正しく理解して論文が書けるようになることが目標である。

2 科目の概要 経済統計（統計調査の調査方法、外部データの利用、統計データの構造）、記述統計（統計データの分布、集計と分類、分布の代表値とばらつき、散布度と集中度、相関と回帰）までを取り扱う。

3 成績評価基準 成績評価はレポートと単位修得試験の結果から、総合的に評価する。レポートの評価にあたっては、①統計データの調査方法を理解しているか、②統計データの分布を度数分布表を作成して観察しているか、③代表値とばらつきを正しく計算しているか、④散布度と集中度を正しく計算しているか、⑤回帰分析を正しく行っているか、という点から評価する。なお①②③は必須であるが、④と⑤はどちらかを行っていればよい。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 上藤一郎・森本栄一・常包昌宏・田浦元著『調査と分析のための統計』（第2版）、

5 学習指導、注意点等 リポート作成においては、他人が既に行った分析ではなく、自分独自の視点から分析を行って執筆すること。既に同じ分析事例がある場合は評価対象としない。もっとも、他に類似した分析があっても、自分独自の視点があればよい。

ECN300TG
統計学Ⅱ
教科担当責任者：菅 幹雄
担当者：菅 幹雄 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 現代の我々がかつてなかったほど多くの情報や統計データに取り囲まれている。だが、多くの人たちがそれらの統計データを適切に処理できるかは疑問である。統計データの読み方および使い方を正しく理解して論文が書けるようになることが目標である。

2 科目の概要 重回帰分析、カテゴリカルデータ分析、数量化理論、多変量データ分析を学習する。

3 成績評価基準 成績評価はリポートと単位修得試験の結果から、総合的に評価する。リポートの評価にあたっては、①重回帰分析、②カテゴリカルデータ分析、③数量化理論、④多変量データ分析のどれかを正しく行っていることが必要である。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 上藤一郎・森本栄一・常包昌宏・田浦元著『調査と分析のための統計』（第2版）、丸善出版、2013年、2500円+税

5 学習指導、注意点等 リポート作成においては、他人が既に行った分析ではなく、自分独自の視点から分析を行って執筆すること。既に同じ分析事例がある場合は評価対象としない。もっとも、他に類似した分析があっても、自分独自の視点があればよい。

ECN300TG
財政学Ⅰ
教科担当責任者：廣川 みどり
担当者：大澤 覚、廣川 みどり 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 日本財政の現状を把握し、どうあるべきかについて考えるための基礎的な知識と論理的思考力を身につけることが目標になります。

2 科目の概要 財政学とは政府の経済活動について考える学問領域です。政府の経済活動にはどのようなものがあるか、どれだけの規模か、そもそも政府が経済介入することの意味とはなにか、消費税率をあげることの意味はあるのか、租税と公債とでは効果が異なるのかどうか、赤字国債の発行の長所や短所は何なのか、等について考えていくことになります。財政学の学習には制度・現状の把握のほかに理論を学ぶことが必要になります。財政学を学ぶことで経済理論の使い方をも修得し、現実の経済をながめるようになっていただければ幸いです。財政学Ⅰでは特に、(1) 経済活動における政府の役割の理解、(2) 日本の財政制度や財政問題の把握、(3) 政府支出や租税の理論の習得、の3点が中心になります。指定テキストの第1章から第5章までが習得範囲ということになります。

3 成績評価基準 単位修得試験の結果が成績になります。(1) 基本用語を把握すること、(2) 論理的な流れを理解すること、(3) 各章末問題を解くこと、(4) 参考書（またはネットの情報）をもとにデータについての最新の値を把握しておくこと、そのうえで、(5) 自分なりの財政についての考え方を持てば、単位が賦与されることになります。試験問題の回答にあたっては、テキストの内容を反映させるのはもちろんのこと、ネットや図書館を利用して調べた情報をもとに、テーマにどう答えたらよいかよく考えて書いて下さい。

4 テキスト名および詳細 テキストとインターネット上のデータ（またはネットにアクセスできない人は参考書のデータ）を用いて学習して下さい：

テキスト：指定市販本 林宜嗣『基礎コース財政学 第3版』新世社、2011年、¥2,350+税

※【スタディガイド（学習指導書）】あり

参考書：

・矢野恒太記念会『日本国勢図会』国勢社、最新年度版。

・『図説日本の財政』東洋経済新報社、最新年度版。

ホームページ上の情報（それぞれ以下の URL より最新版を参照のこと）

・日本の財政関係資料：http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/index.html

・財政投融资リポート：http://www.mof.go.jp/filp/publication/filp_report/index.html

テキストは10章からなります。財政学Ⅰでは、その第1章から第5章までの内容を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 学習については以下の形で進めて下さい：

(1) ノートを用意してください。

(2) テキストを開く前に、自分がいま「政府の経済活動」についてどのような知識を持っているか、ノートの第一頁に書いて下さい。単語だけ（消費税とか年金など）でもいいし、自分なりの意見でもかまいません。

(3) テキストをもとに自分でノートを作成してください。そのさい、データについてはホームページまたは参考書から、新しいものを確認しておくこと。また、新聞やTVのニュースにも敏感になってください。

(4) 理論的な部分についてはミクロ経済学（あるいは経済学入門）の教科書を参考にしてください。

(5) 各章末の問題を解き、内容を理解しているか確認して下さい。

(6) 最初の頁に、自分が理解したことを書き込み、何を得たかをチェックしましょう。

(7) その後、設題に取り組んで下さい。以上の作業ができていれば、できるはずですが。教科書やネット情報の丸写しでなく、自分のことばでまとめてください。

ECN300TG
財政学Ⅱ
教科担当責任者：廣川 みどり
担当者：大澤 覚、廣川 みどり 単位数：2 単位

1 学習の到達目標 財政学Ⅰの知識を前提としたうえで、税制の問題、社会保障問題、マクロ経済政策、地方財政問題等の、政府が実施している様々な政策を眺めていくことで、現実の経済を見る目を養います。

2 科目の概要 財政学とは政府の経済活動について考える学

問領域です。政府の経済活動にはどのようなものがあるか、どれだけの規模か、そもそも政府が経済介入することの意味とはなにか、消費税率をあげることの意味はあるのか、租税と公債とでは効果が異なるのかどうか、赤字国債の発行の長所や短所は何なのか、等について考えていくことになります。財政学の学習には制度・現状の把握のほか理論を学ぶことが必要になります。財政学を学ぶことで経済理論の使い方をも修得し、現実の経済をながめるようになっていただければ幸いです。

財政学Ⅱでは特に、(1)日本の税制と税制改革、(2)社会保障の財政問題、(3)マクロ経済政策、(4)地方財政の4点が中心になります。指定テキストの第6章から第10章までが習得範囲ということになります。

3 成績評価基準 単位修得試験の結果が成績になります。(1)基本用語を把握すること、(2)論理的な流れを理解すること、(3)各章末問題を解くこと、(4)参考書(またはネットの情報)をもとにデータについての最新の値を把握しておくこと、そのうえで、(5)自分なりの財政についての考え方を持てば、単位が賦与されることになります。試験問題の回答にあたっては、テキストの内容を反映させるのはもちろんのこと、ネットや図書館を利用して調べた情報をもとに、テーマにどう答えたらよいかよく考えて書いて下さい。

4 テキスト名および詳細 テキストとインターネット上のデータ(またはネットにアクセスできない人は参考書のデータ)を用いて学習して下さい：

テキスト：指定市販本 林宜嗣『基礎コース財政学、第3版』新世社、2011年、¥2,350+税

※【スタディガイド(学習指導書)】あり

参考書：

・矢野恒太記念会『日本国勢図会』国勢社、最新年度版。

・『図説日本の財政』東洋経済新報社、最新年度版。

ホームページ上の情報(それぞれ以下のURLより最新版を参照のこと)

・日本の財政関係資料：http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/index.html

・財政投融资リポート：http://www.mof.go.jp/flp/publication/flp_report/index.html

テキストは10章からなります。財政学Ⅱでは、その第6章から第10章までの内容を範囲とします。

5 学習指導、注意点等 学習については以下の形で進めて下さい：

(1)財政学Ⅰの知識を前提としています。復習を行ってから取り組んで下さい。

(2)ノートを用意してください。

(3)財政学Ⅱで何を学んだかを考えて、それをノートの第一頁に書いて下さい。

(4)テキストをもとに自分でノートを作成してください。そのさい、データについてはホームページまたは参考書から、新しいものを確認しておくこと。また、新聞やTVのニュースにも敏感になってください。

(5)理論的な部分についてはミクロ経済学やマクロ経済学(あるいは経済学入門)の教科書を参考にしてください。

(6)各章末の問題を解き、内容を理解しているか確認して下さい。

(7)最初の頁に、自分が理解したことを書き込み、何を得たかをチェックしましょう。

その後、設題に取り組んで下さい。以上の作業ができていれば、できるはずですが。教科書やネット情報の丸写しでなく、自分のことばでまとめてください。

ECN300TG

経済政策論Ⅰ

教科担当責任者：小黒 一正

担当者：小黒 一正、持元 江津子

単位数：2単位

1 学習の到達目標 ①古典派の理論を学び、経済成長の諸要因を理解する。②ケインジアン理論を学び、景気変動の諸要因を理解する。③財政金融政策がマクロ経済に及ぼす短期的・長期的影響を理解する。

2 科目の概要 経済政策は非常に範囲が広いが、その理解や考察には「マクロ経済学」「公共経済学」の知識が必要不可欠である。このうち前者の「マクロ経済学」には二つの対立する考え方が存在する。一つは市場の円滑な機能を前提に組み立てられた「古典派」の理論であり、もう一つは(少なくとも短期的には市場が円滑に機能しないことを前提に)財に対する総需要の大きさが財の総供給や経済全体の所得を決定すると仮定する「ケインジアン」の理論である。このどちらの理論が妥当かという判断によって、財政政策・金融政策をはじめ、マクロ経済政策の処方箋が異なってくる。そこで、「経済政策論Ⅰ」では、財政政策・金融政策との関係を含め、現代的な「マクロ経済学」の基礎的な内容を学んで欲しい。

3 成績評価基準 成績評価は100%「単位修得試験」による。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『マクロ経済学入門』ミネルヴァ書房、麻生良文著、2009年、¥3,500+税

5 学習指導、注意点等 現在のマクロ経済学は応用ミクロ経済学の色を強めており、本来はミクロ経済学の基礎知識が履修の前提となるが、本科目のテキスト(『マクロ経済学入門』麻生良文、ミネルヴァ書房、2009年)は、そのような知識がない初学者でも学習できるように構成されている。なお、本テキストには一定の数式が登場するが、「古典派」「ケインジアン」の理論が対立する形式で記載されている良書であるため、意欲的に取り組んで欲しい。

なお、以下の書籍も有益である。

マンキュー『マンキュー経済学Ⅱ マクロ編』東洋経済新報社(入門用)

マンキュー『マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ』東洋経済新報社(中級)

福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門』有斐閣アルマ

スティグリッツ『スティグリッツ マクロ経済学』東洋経済新報社

ECN300TG

経済政策論Ⅱ

教科担当責任者：濱秋 純哉

担当者：濱秋 純哉、持元 江津子

単位数：2単位

1 学習の到達目標 ①「政府の役割」や「価格メカニズムの役割」を理解する。②公共財の供給決定メカニズムや外部性の解決方法を理解する。③課税や公債の負担、財政政策の効果について理解する。

2 科目の概要 経済政策は非常に範囲が広いが、その理解や考察には「マクロ経済学」「公共経済学」の知識が必要不可欠である。このうち後者の「公共経済学」では「政府の役割」「価格メカニズムの役割」を考察しつつ、政府はどの分野に関与すべき

で、どの分野は市場に任せておけば良いのかという議論を扱う。また、「政府の失敗」「市場の失敗」が起こる原因や解決方法、課税や公債の負担、財政政策の効果についての理解も重要である。そこで、「経済政策論B」では、公共財の供給決定メカニズムを含め、現代的な「公共経済学」の基礎的な内容を学んで欲しい。

3 成績評価基準 成績評価は100%〔単位修得試験〕による。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『公共経済学』（有斐閣アルマ）、有斐閣、林 正義・小川 光・別所俊一郎、2010年、¥2,300+税

5 学習指導、注意点等 理論経済学と財政学の学際分野である「公共経済学」は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられ、本来はミクロ経済学の基礎知識が履修の前提となるが、本科目のテキスト（『公共経済学』（林正義・小川光・別所俊一郎、有斐閣、2010年）は、そのような知識がない初学者でも学習できるように構成されている。なお、本テキストには一定の数式が登場するが、所得税や消費税といった税制の根本問題や公債の負担に関する議論を丁寧に考察している良書であるため、意欲的に取り組んで欲しい。

なお、以下の書籍も有益である。

ステイグリッツ『公共経済学上』東洋経済（入門用）

ステイグリッツ『公共経済学下』東洋経済（入門用）

麻生良文『公共経済学』有斐閣（中級）

井堀利宏『基礎コース公共経済学』新世社（中級）

井堀利宏『公共経済の理論』有斐閣（上級）

ECN300TG

日本経済論Ⅰ

教科担当責任者：長原 豊

担当者：長原 豊

単位数：2 単位

※ 2018年4月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 日本経済の「史的展開」とその「理論」的な理解（日本経済論Ⅱの基礎理論）

2 科目の概要 1 明治期から戦間期における日本資本主義の形成過程を跡づけることを課題とする。

2 その際、第一に支配的な資本蓄積様式における変化をつねに意識した理解を求め、また第二に、したがって、それぞれの蓄積様式に即した政策展開を具体的に理解できるような視点を確立する。

3 戦前期における蓄積様式と戦後期におけるそれとの連続性と断続性が理解できるような視点を確立する。したがって「現状分析」がつねに意識されている。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験によって評価する（ただし、レポート学習もしっかり行うこと）。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 杉山伸也『日本経済史 近世－現代』岩波書店、2012年、4,000円+税（マクロな視点によって「バブル期」まで記述した日本経済史＝日本経済論）。

5 学習指導、注意点等 指定されたテキストをしっかりと読み、ノートを作るだけでなく、指定しなかった文献もテキスト、参考文献から必要なものを探し出し、学習すること。

ECN300TG

日本経済論Ⅱ

教科担当責任者：長原 豊

担当者：長原 豊

単位数：2 単位

1 学習の到達目標 戦後日本資本主義の展開を俯瞰的に把握すること。

2 科目の概要 1 敗戦後における経済システムを史的に把握すること。

2 1の過程を政治経済過程として理解する視点を獲得すること。

3 いわゆる「失われた20年」に到る過程の必然性を理解すること。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験によって評価する（ただし、レポート学習もしっかり行うこと）。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 杉山伸也『日本経済史 近世－現代』岩波書店、2012年、4,000円+税（マクロな視点によって「バブル期」まで記述した日本経済史＝日本経済論）。

5 学習指導、注意点等 指定されたテキストをしっかりと読み、ノートを作るだけでなく、指定しなかった文献もテキスト、参考文献から必要なものを探し出し、学習すること。

LAW300TG

憲法

教科担当責任者：建石 真公子

担当者：建石 真公子、土屋 仁美

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 近代憲法の原理を学ぶとともに、日本の憲法の特徴は何かを理解する

日本国憲法の保護している人権の内容、その保障の現状および課題について理解する

日本国憲法における統治機構、三権分立、違憲審査制、地方自治について理解する

2 科目の概要 この科目では、憲法という法を支えている「原理」、憲法制定の目的である「人権保障」、そうした憲法の目的を具体化する統治機構の原理と運用及びその課題について理解することを目的としている。

現在の国際社会の約190カ国において、ほぼどの国も「憲法」を制定している。しかし、具体的な内容や実際の運用においては、各国の歴史や社会、宗教、国際関係などの影響により多様である。日本は、最初の憲法である明治期の大日本帝国憲法、敗戦後の日本国憲法ともに、西欧の立憲主義を受容し、それまでの日本の社会を制度的にも思想的にも大きく変えたという特徴を持っている。

この科目では、このように歴史や社会のあり方、国際社会などとの関係によって影響を受ける憲法について、憲法という法を支えている基本的な「原理」である国民主権や民主主義、権力分立、また人権の概念やその保障について理解することを目的とする。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『現代日本の憲法 [第2版]』、法律文化社、元山 健・建石真公子編、2016年、¥2,800+税

※初版（2009年）も使用可

【参考文献】

『(別冊ジュリスト) 憲法判例百選Ⅰ 第6版』有斐閣、2013年
『(別冊ジュリスト) 憲法判例百選Ⅱ 第6版』有斐閣、2013年

5 学習指導、注意点等 憲法の学習としては、まず、教科書を読み理解し、次に、教科書で参照されている判例について判例集を読んで具体的な事件との関係で理解する、というのが基本である。

まずは、近代憲法の原理、人権の基本原則を把握したうえで、人権を保障し民主主義を維持する、という目的に照らして、裁判所や国会、行政などの仕組みを学ぶと理解しやすい。より深く学習するには、教科書に紹介されている論文や専門書を読み、また法学セミナー、法律時報、法学教室、ジュリストなどの法律雑誌に掲載されている関連する論文等を読むと興味が深まるだろう。憲法は政治や歴史、国際関係と密接な関連を持っているため、日ごろから新聞などに目を通し、国内政治や国際政治等に関心を持ってください。

LAW300TG
民法一部（総則・物権法）
教科担当責任者：大澤 彩
担当者：大久保 慎太郎、大澤 彩 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 契約、物、家族といった私達の生活の基本的なルールを定めている民法のうち、民法全体に共通するルールからなる「民法総則」部分、および、物についての規範である「物権」部分を中心に、基本的な内容を理解することを目標とする。

2 科目の概要 民法には、契約（売買、賃貸借など）、物（所有権、担保）といった取引社会の基本要素に関するルールが設けられている。経済活動のあり方を考える上では、法律による取引活動の規律がいかなるものであるかを学ぶ必要があるが、その際に民法を学ぶことは非常に重要である。本科目では民法のうち、民法全体に共通する規範である「民法総則」および物権に関する規範である「物権法」を学習する。具体的には、民法総則では、通則、権利の主体・客体、法律行為、時効制度などについて、物権では、所有権等の各種物権や担保物権などについての理解を深める。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容を考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『民法 総則・物権』第6版（有斐閣アルマ）、有斐閣、山野日章夫著、2017年、¥1,800+税

※第5版（2012年）の使用も可

5 学習指導、注意点等 学習にあたっては、必ず六法を傍らに置くこと。民法を勉強する上で、とりわけ民法全体に共通するルールである民法総則の知識は不可欠であるが、民法総則の条文には抽象的なものが多いので、条文を見ただけでは具体的な要件・効果が判然としないことがほとんどである。そこで、テキストを熟読し、各条文の要件・効果を判例や学説をふまえて具体的に理解することが必要となる。その際、判例や学説は必ずしも単一ではないことから、指定されたテキストはもちろん、推薦されている参考書や『民法判例集（総則・物権）』『民法判例百選』（いずれも有斐閣より発売）等で判例や学説の理解を深めることが大切である。また、民法を勉強する上で判例は

非常に重要な素材である。判例を理解するにあたっては、単に判例の結論のみにとらわれず、当該事案の具体的な内容や争点をふまえながらなぜそのような結論が提示されたのかを考察するよう努めてほしい。

なお、総則の一部は改正がなされた。審議経過や改正法等につき、法務省のHPで確認すること。また、改正法に関する主な書籍として以下のものがある。

潮見佳男『民法（債権関係）改正法の概要』きんざい、2017年、¥3,200

山本敬三『民法の基礎から学ぶ民法改正』岩波書店、2017年、¥1,200

大村敦志・道垣内弘人編『解説 民法（債権法）改正のポイント』有斐閣、2017年、¥3,200

潮見佳男ほか編著『Before/After 民法改正』弘文堂、2017年、¥3,300

LAW300TG
民法二部（債権法）
教科担当責任者：大澤 彩
担当者：明石 真昭、大澤 彩 単位数：4 単位 ※ 2017年4月よりテキスト（指定市販本）変更

1 学習の到達目標 民法のうち、取引に直接関係する債権総論、債権各論部分について、基本的な内容を理解することを目標とする。

2 科目の概要 民法には、契約（売買、賃貸借など）、物（所有権、担保）といった取引社会の基本要素に関するルールが設けられているが、本科目では民法のうち、取引に直接関係する債権総論、債権各論部分を学習する。具体的には、債権の目的、効力、譲渡、消滅、さらには多数当事者の債権・債務について定める債権総論部分についてはもちろん、債権の発生原因として重要な契約、事務管理、不当利得、不法行為について学ぶ。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価するが、評価の際は先に提出されたレポートの内容も考慮する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『債権（エッセンシャル民法3）』有斐閣、永田眞三郎・松本恒雄・松岡久和・横山美夏著、2010年、¥2,500+税

5 学習指導、注意点等 学習にあたっては、必ず六法を傍らに置くこと。しかし、民法の条文には抽象的なものが多いので、条文を見ただけでは具体的な要件・効果が判然としないことがほとんどである。そこで、テキストを熟読し、各条文の要件・効果を判例や学説をふまえて具体的に理解することが必要となる。その際、判例や学説は必ずしも単一ではないことから、指定されたテキストはもちろん、推薦されている参考書や『民法判例集（債権各論）』『民法判例集（債権総論・担保物権）』『民法判例百選（債権）』（いずれも有斐閣より発売）等で判例や学説の理解を深めることが大切である。また、民法を勉強する上で判例は非常に重要な素材である。判例を理解するにあたっては、単に判例の結論のみにとらわれず、当該事案の具体的な内容や争点をふまえながらなぜそのような結論が提示されたのかを考察するよう努めてほしい。

また、債権総論部分の条文には、債務不履行、相殺、債権譲渡など、直ちにはイメージがわかず、とっつきにくいものが多いので、まずは日常生活に身近であり、債権の発生原因として重要な契約、不法行為を最初に勉強することをおすすめする。

さらに、債権法については改正がなされた。審議経過や改正法など、法務省のHPを見て確認すること。また、改正に関する主な書籍には以下のものがある。

潮見佳男『民法（債権関係）改正法の概要』きんざい、2017年、¥3,200

山本敬三『民法の基礎から学ぶ民法改正』岩波書店、2017年、¥1,200

大村敦志・道垣内弘人編『解説 民法（債権法）改正のポイント』有斐閣、2017年、¥3,200

潮見佳男ほか編著『Before/After 民法改正』弘文堂、2017年、¥3,300

LAW300TG

商法総則・商行為法

教科担当責任者：椽川 泰史

担当者：松谷 秀祐

単位数：4 単位

1 学習の到達目標 企業組織・企業取引に関してわが国ではどのようなルール・仕組みが用意されているかについて基本的な知識を修得しており、それらルール・仕組みの概要を説明することができる。

2 科目の概要 本科目は、商法（明治32年法律48号）のうち、第1編総則（第1条から第32条）、第2編商行為（第501条から第628条）を主たる学修対象とする科目です。また、会社法（平成17年法律第86号）第1編総則（第1条から第24条）のうち、商法第1編と同様の規定が置かれている部分についても本科目の学修対象となります。

具体的には、上記3編における重要な規定、および関連する重要判例について出題を行います。

3 成績評価基準 レポートの完成度および単位修得試験の成績で評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『商法総則・商行為法』第4版、新世社、田邊光政著、2016年、¥2,980+税

5 学習指導、注意点等 本科目の学習に際しては、以下の5点について注意しながら学習を進めるよう心がけてください。

(1) 概念や法技術の「つながり」を意識しながら学習を進める。

商法は他の法分野と比較して、なじみが浅く興味が持ちにくいと考えられがちです。確かに、商法の中には、特有な意味を有する特殊な概念や法技術が多く用いられています。しかし、それらの概念や法技術は、当然、一定の目的を達成するために、商法の中に用いられているのです。そこで、テキストを通読する際には、商法上の概念や法技術はそれぞれどのような目的や狙いを持っているのか、それぞれの概念や法技術は相互にどのような関連性を有しているのかという点に留意しながら読み進めていってください。そうすれば学習を進めていくにつれて、理解も深まり、商法の学習に興味を持てるようになるでしょう。

(2) テキストを自分だけの本に加工する。

ただ、漫然とテキストを読んでいるだけでは、情報が右から入って左から出ていくだけです。そこで、テキストを通読する際には、必ずペンなど筆記用具を持ちながら、読み進めていってください。

その際、たとえば、条文の内容など、重要そうな概念を説明した箇所には赤のアンダーラインを引く、条文の文言が曖昧なために、判例・学説上争いがある箇所（このような箇所を「論点」とも言います。）には青のアンダーラインを引く、一読して意味がよくわからなかった箇所には「？」マークを余白に鉛筆で書

く、というように、テキストを自分だけの本に加工していただく。最初は「？」マークだらけ、あるいは1ページ読み進めるのに1日かかることもあるでしょうが（私も法律の勉強を始めたころにはそうでした。）、着実に一步一步、歩みを進めていってください。

(3) 常に傍らに六法、法律学小事典などを置いてテキストを通読する。

テキストを読み進める際に、条文が出てきたら六法で該当条文を調べる、また、意味がわからない用語が出てきたら、『法律学小辞典』（有斐閣）などの法律学辞典を調べというくせをつけるようにして下さい。ごくまれに、テキストに書いてある文章を丸写しして、該当条文も調べていない、自身で意味がよくわかっていない用語も調べていないレポートに出会いますが、そのような「手抜き」レポートは見た瞬間にわかります。一語一語、調べながら読み進めることは一見すると遠回りなのですが、実は、レポート合格、単位修得試験合格への一番の近道であるのです。

(4) 当事者の関係図などをメモにとりながらテキストを読み進める。

テキストを読んでいると、多数の当事者が出てくる事例にも遭遇します。たとえば、次のような事例があります。「XはA会社に対する貸金債権の担保のためA会社からアンゴラ毛糸を譲渡担保にしていた。A会社の倒産後、Xはこれを換価処分しようとしたが、Xは金融業者であり、自ら買主を探すことはできなかったため、A会社の代表に毛糸の売却を依頼し、BはこれをYに売却した。Bは毛糸の売買の際、Xのためにすることを示さず、また、Y会社はその毛糸がA会社よりXに譲渡担保に供されていたことを知らなかった。XがY会社に代金を請求したところ、Y会社はA会社に対する反対債権と売買代金債務を相殺したと主張した（指定市販本174ページ以下）。」どうでしょうか。一読して、当事者関係および事案の流れを明確に把握できたでしょうか。テキストではこのような複雑な事例が多く出てきますので、そのような事例に遭遇した際には、頭の中だけで悩むのではなく、実際に当事者関係の図（例：X→A会社代表B→Y）や、時系列の図（例：譲渡担保→倒産→代理行為）を付箋やノートに書きながら読みすすめていってください。

(5) 商法総則・商行為法はそれ自体で完結した科目ではないことに注意する。

シラバス冒頭で商法総則・商行為法は企業の組織及および取引に関する科目であると説明しましたが、企業の組織および取引に関する規定の全てが商法・会社法に定められているわけではありません。

そのため、テキストを読み進める際、また、レポート作成の際、あるいは単位修得試験の対策の際には、他分野、特に、私人間の関係について広く一般的に規定した民法に関する知識が必要不可欠になります。

通学部あるいは通信教育部を問わず、受講生から、商法総則・商行為法の内容が難しい、理解できないという質問をよく受けるのですが、実はその悩みの主たる原因は、基本となる民法の知識及び思考方法が身につけていないことである場合が多いと感じています。ですから、遠回りのように感じるかもしれませんが、まずは民法各科目のテキストあるいは、たとえば、野村豊弘『民事法入門〔第7版〕』（有斐閣、2017年）などを通読し、民法の規定についてひととおり学習（復習）した上で、本科目の学習を始めると理解度が全く異なったものになるでしょう。

LAW300TG
会社法
教科担当責任者：柴田 和史
担当者：笹久保 徹
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 会社法の重要かつ基礎的な知識を習得すること。

- ① 株式会社および持分会社に関する会社法上の制度の基本を正確に理解すること。
- ② 上記の知識を活用して、具体的な問題を解決する能力を身につけること。

2 科目の概要 株式会社に関する会社法上の基礎知識を学習する。

「会社法」は、2005年（平成17年）に単独法典として成立したものであり、株式会社および持分会社について規定する。それ以前においては、1899年（明治32年）以来、現行商法典の中に株式会社および持分会社に関する多くの規定が存在していた。したがって、会社法が成立する以前に株式会社や持分会社を勉強した人は、株式会社・持分会社に関する規定は、会社法〇〇条ではなく、商法〇〇条として記憶している。

会社法において重要かつ基本的なことを述べておこう。

株主になろうとする者が、通常、一定の金額の金銭を出資すると、株式会社に対する請求権の束としての「株式」が生じる。株式を表章する有価証券が株券である。株券を持つ者は、正当に株式を有するということが推定される。正当に株式を有する者を「株主」という。株主は、出資した金銭の集積されたものをうまく運用してその金額を増加させるために「取締役」を選任する。取締役は、①法令・定款・株主総会決議を遵守し、②善管注意義務を尽くし、③忠実義務を遵守しながら、株式会社の経営を行わなければならない。取締役は会社の経営をうまく行い、剰余金を産出しなければならない。取締役が会社を営んだ結果として剰余金を産出した場合、株主は、その剰余金をさらなる出資に当てることもできるし、また、自分たちが受け取り、個人的に消費することもできる。この産出された剰余金のうち、株主が受け取るころの金銭を「配当」という。わが国には、約250万社の株式会社が存在し、その中の約4000社の株式会社の株式のみが金融商品取引所に上場され、常に売買されている。このような株式を上場株式という。上場株式は、多くの場合、その需要供給のバランスから株価が定まる。上場株式を有する株主にとっては、配当が増加すること、および、上場株式の株価が上昇することが、利益となる。

会社法は、比較的、まとまった法体系を規定しており、その意味では、学習しやすい法律といえることができる。なお、条文のほかに、判例によって形成された部分も少なからず存在するので、判例法についても十分に注意を払わなければならない。

3 成績評価基準 最終評価は単位修得試験で評価する。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 柴田和史著『会社法詳解〔第2版〕』（商事法務、2015年）、¥5,400+税
※【スタディガイド（学習指導書）】あり

5 学習指導、注意点等 六法等を開いて会社法の条文を参照しつつ、指定したテキスト（柴田和史著『会社法詳解〔第2版〕』）をていねいに読み込むこと。また、電車の中など時間のあるときに、参考図書の柴田和史著『ビジュアル 図でわかる会社法（日経文庫）』（日本経済新聞出版社、2014年）を見てほしい。
① 会社法に限らず、およそ商法・民法・会社法・手形法などを学ぶに際しては、必ず条文を参照する習慣をつけること。六

法を愛用し、ともかく、六法の必要なページを開く習慣を身につけて欲しい。このようにして物事の根拠となる条文を使いこなす能力を習得していることが、法学部生の最大の長所である。
② 会社法で用いられている基本的な概念を正確に理解すること。たとえば、「株式」とは何か、「忠実義務」とはいかなる義務か、「株式」と「株券」の違いを正確に説明できるか、「吸収合併」と「株式交換」はどこが異なるか、などの基本的理解に関わる問いに答えることができるためには、テキストに述べてある各概念の定義や説明を丁寧に注意深く読むことが必要である。
③ 会社法は、比較的、ほかの法律の知識を必要としないで理解することのできる法律といえる。もちろん、民法における契約や債権債務関係の知識、不法行為に関する知識などは当然の前提として要求される。しかし、もっとも大きな問題は、全文で979条もあり、そのうえ、各条文が長いので、六法のページ数を比較すれば、民法典の約2.5倍の分量があるということである。したがって、会社法に関しては、各条文がどのような内容を規定しているかを理解することが最初の大きな仕事となる。
④ 会社法においては、「株主」、「取締役」、「監査役」、「会社債権者」などが、基本的な登場人物である。取締役が具体的に会社法上のなんらかの行為をするとき、場合によっては、株主の利益を増加させ、同時に、会社債権者の不利益を増加させることがある。また、場合によっては、その逆のことがある。さらに、場合によっては、株主の不利益を増加させ、取締役の利益を増加させることがある。このように、会社法で規定されているさまざまな事象は、誰かと誰かの利害関係を緊張させる場合が多く、会社法は、その問題をさまざまな法的テクニックを駆使することによりバランスの取れた結論が導かれるように条文を設定している。学生は、条文の定めた内容をただ丸暗記するのではなく、ぜひそのあたりを理解した上で、会社法を内容豊かなものとして学んで欲しい。

学習に際して、指定テキスト（柴田和史『会社法詳解〔第2版〕』（商事法務、2015年））以外にも以下の図書が参考となる。

1. 柴田和史著『ビジュアル 図でわかる会社法（日経文庫）』（日本経済新聞出版社、2014年）、¥1,000（税抜）
2. 柴田和史著『類型別 中小企業のための会社法〔第2版〕』（三省堂、2015年）、¥2,800（税抜）
3. 北村雅史＝柴田和史＝山田純子著『現代会社法入門〔第4版〕』（有斐閣、2015年）、¥2,900（税抜）
4. 近藤光男＝柴田和史＝野田博著『ポイントレクチャー会社法〔第2版〕』（有斐閣、2015年）、¥3,800（税抜）
5. 岩原伸作ほか編『会社法判例百選〔第3版〕』（別冊ジュリスト229号）（有斐閣、2016年）、¥2,400（税抜）

なお、以上の参考図書を利用する場合に改訂版が出版されているときは、改訂版を参考にすること。

LAW300TG
手形法・小切手法
教科担当責任者：椋川 泰史
担当者：金尾 悠香、清水 真人
単位数：4 単位

1 学習の到達目標 手形も小切手もそれ自体は徐々に使われなくなっている道具ですが、そこで用いられている解釈技術は、民法（特に債権法）の理解を深め、現代的な決済システムにも応用できる有用な知識ですので、これを身につけるように努めていただきたいと思います。

2 科目の概要 手形には約束手形及び為替手形があります。わが国では、約束手形が主に利用されています。

手形（以下、小切手も含む）の総論（たとえば、手形行為など）を学び、さらに手形の振出、譲渡及び支払などを勉強します。

3 成績評価基準 最終成績は、単位修得試験により評価します。

4 テキスト名および詳細 指定市販本『商法Ⅲ手形・小切手』第4版（有斐閣Sシリーズ）、有斐閣、大塚龍児・林靖・福瀧博之著、2011年、¥2,100+税

5 学習指導、注意点等 民法総則・債権法を履修していることが望ましい。

LAW300TG
労働法
教科担当責任者：沼田 雅之
担当者：沼田 雅之、藤木 貴史、山本 圭子 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 （労働法総論・労働契約法）労働法の意義、目的を正確に把握し、労働契約法の仕組みを理解することが望まれる。

（労働基準法） 労働基準法、最低賃金法など労働法規における労働条件基準を正確に理解することが目標である。

（労働組合法） 労働組合の機能、団体交渉、争議行為等団体行動の法的保障と限界を正確に理解することが目標である。

2 科目の概要 労働者と使用者との労働関係を規律する労働法を個別的労働関係法と集団的労働関係法の二つに分けて学習する。近年、前者の個別労働関係法領域において、労働契約法や労働審判法などの新しい法律が制定されたり、労働基準法の大きな法改正がなされたりするなど、動きが激しい。他方、後者の集団的労働関係法領域についても、最近、労働組合法の改正がなされている。こうした絶えず法制度の改編が進む労働法のダイナミックな動きを具体的なテーマに即してテキストをよく読んで、理解を深めてほしい。

なお、労働法と社会保障法の交錯領域（労災、社会保険）についても学習をすることがのぞましい。

3 成績評価基準 最終成績は単位修得試験により評価する。（ただし、レポート学習もしっかりと行うこと。）

4 テキスト名および詳細 ・指定市販本『基礎から学ぶ労働法Ⅰ労働法総論・個別的労働関係法』第3版、エイデル研究所、金子征史・藤本 茂・大場敏彦・高野敏春著、2012年、¥2,381+税
・指定市販本『基礎から学ぶ労働法Ⅱ集団的労働関係法・社会保障法』第2版、エイデル研究所、金子征史・藤本 茂・大場敏彦編、2016年、¥2,300+税

なお、上記指定テキスト『基礎から学ぶ労働法Ⅰ』は2018年に第4版が発行される予定である。学習開始時に第4版が発行されている場合は、その版を使用すること。

5 学習指導、注意点等 労働法は憲法25条の生存権保障理念の実現を労働者に保障することを目的とする一連の法体系である。こうした目的の実現を図るために、憲法では、労働者に対して、27条で、労働権保障・労働条件基準の法定化要求などを定めるとともに、28条で、団結権、団体交渉権、その他団体行動権を保障している。こうした労働者の権利の実現を具体的に定める法が労働法である。こうした労働法は、大別すれば、憲法27条に基づく個別的労働関係法（労働基準法、最低賃金法、労働契約法など）の法体系と、憲法28条に基づく集団的労働関係法（労働組合法、労働関係調整法など）の法体系によって構成されているが、今日の労働者の置かれた状況を見ると、雇用保障

法領域や社会保障法領域なども、労働者の生存権保障にとって重要な意義を有する労働法のもう一つの法体系となっている。労働法の学習は、まず、労働法の意義をあきらかにし、労働者に保障されている具体的労働法の内容を理解するところから始めなければならない。大学での限られた時間のなかで学ぶ労働法の対象は、そのすべてに及ぶわけではないが、少なくとも個別的労働関係法の中心となっている労働基準法、労働契約法、さらに、集団的労働関係法の中心となっている労働組合法は必ず学ばなければならない。

そのうえで、余力があれば、社会保障法や雇用保障法にまで手を伸ばして勉強できればさらに充実した労働法の学習になると思われる。使用テキストは、社会保障法など労働法の関連法領域にまで意を尽くして記述しているので、テキストを丁寧に読んで学ぶことを心掛けてほしい。学問に王道はないといわれるが、労働法の世界でもまったくそのとおりであるので、テキストを熟読したうえで、レポートを作成してほしい。

ECN300TG
社会思想史
教科担当責任者：伊海 孝充
担当者：伊藤 直樹 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 古代から20世紀にまでおよぶヨーロッパを中心とした社会思想史について、各時代ごとの思想の特徴を理解し、一定程度自分の言葉で語るができるようにすることにある。

2 科目の概要 社会思想史とは、社会について、あるいは国家について、ひとがどのように考えてきたかを、歴史的にたどるものである。私たちは「個」として生きている。だが、その「個」は、逃れようもなく社会のなかに生きている。だとすれば、その「個」が生きているところの「社会」は、どのようなものであろうか。思想家たちが、古代において、16,17世紀において、また19世紀において、それぞれに社会をとらえ、またあるべき社会の姿を提示しようとしてきた。そうした社会についての思想をとらえることが、本科目の課題である。ただし、その社会のあり方は、現在私たちがもっているイメージと、共通している点もあれば、そうでない点もある。「歴史」という目を持ってみれば、おのずとそうなる。社会思想「史」であるとは、社会についての思想を歴史的に見ることであり、現在の私たちの状況と、過去のそれとを見較べながら学ぶこともまた必要である。

3 成績評価基準 ・レポート評価

ごく基本的なこととして、誤字脱字、文章の主部と述部とが乱れていないか、また段落のつけ方が適切であるかといった点には注意されたい。ときおり、口語調の文体で、そうした点に無頓着な文章を見かける。これらのことは、内容の理解と密接に関係していると思われるからである。

次に、課題についてよく考えることである。その課題がなにを要求しているかを、自分なりに見極めること。よく調べ、丁寧に論述されていても、課題に相応しくなければダメである。

また、学ぶ内容は、過去の思想である。したがって、けっして自分の思い込みでレポートを書くことはできないはずである。まずは、自分の思い込みを脇に置いて、通教テキストに沿って理解してゆくことが大切である。だから、「自分なりの理解」は重要であるが、それは、レポートをまとめるさいの、その「まとめ方」や、ときとして必要になるはずの自分の言葉での「要約

に現われてくる。評価のさいには、そこに注目する。自分なりの「意見」を加えてもよいが、それは、そうした「自分なりの理解」を踏まえてのものであるだろう。

・筆記試験

レポートでの課題と関連した内容を問う。思想内容を客観的に理解できているかどうか、評価の基準となる。

4 テキスト名および詳細 通教テキスト『社会思想史』第2版、濱田義文・加来彰俊・湯川桂一郎・牧野英二・星野勉・安孫子信・笠原賢介・酒井健、2010年

まずは、通教テキストを、精読してもらいたい。そのうえで、章末に掲載されている参考文献、あるいは入手可能な関連文献などにあたってもらいたい。

5 学習指導、注意点等 レポートを書く際には、『自立学習の手引き』などを参照してもらいたい。

上述したが、まずは、通教テキストを精読して欲しい。テキストの精読を踏まえて課題を考え抜くことで、どのような内容と構成をもったレポートを書くべきかが、見えてくるはずである。その内容を決めてはじめて、参考文献にあたって欲しい。このような手順を踏んだかどうかは、レポートに如実に現われる。あえて言うと、この手順を逆にして作成されたレポート、つまり、課題をちらっと見て、関係ありそうな参考文献から抜き書きしただけのもの、そういうものは、書き手の理解がともなわない、ただ難しいだけのものになってしまう。これでは、学びとは言えない。

ECN300TG
経済地理
教科担当責任者：伊藤 達也
担当者：伊藤 達也 単位数：4 単位

1 学習の到達目標 経済地理学の基本的な考え方、方法を学ぶことによって、社会・経済現象に対して経済地理学からどのように捉えることができるかについて理解することを目的とする。

2 科目の概要 経済地理学は人文地理学の中で、特に経済現象を地理学的視角からとらえていくことを目的とする。テキストとして山本健児『経済地理学入門－地域の経済発展』〔新版〕を使用する。本テキストは経済地理学の基本的な考え方、方法論を最も適切かつ簡潔に記している。

3 成績評価基準 成績評価は設題に対するレポートと単位修得試験による。

レポートについては、特に引用文献を適切に提示することに注意すること。

単位修得試験の場合、必ずテキストをすべて理解した上で臨むこと。

4 テキスト名および詳細 指定市販本 山本健児『経済地理学入門－地域の経済発展』〔新版〕、原書房、2005年、¥ 2,800+税

5 学習指導、注意点等 成績評価基準に書いた通り。レポートは適切な引用と、自らのオリジナルな調査結果によって記述されるものである。その際、多くのレポートは引用によって成り立つものであるため、必ず、どの文献のどの部分を引用したかがわかるように本文中に記述すること。引用の仕方がわからない場合は、専門論文などを参考にして欲しい。

単位修得試験は解答者の意見を聞く場ではなく、解答者の適切な理解度を問う場である。テキストをしっかりと理解した上で臨むこと。